

■ 西武信用金庫

025-FY2021-01

ホームページ、ディスクロージャー誌を活用してのSDGsの普及啓蒙(意識向上)

【原則7】

【特徴】

当金庫ホームページで発信する News 記事やディスクロージャー誌などに活動に紐づく SDGs ゴールのロゴを表示。これにより職員は本業（日常業務）が SDGs に資するものであるという（環境や社会問題に対する活動）認識を持って活動していくという意識向上が図れ、ホームページや誌面を読まれたお客さまにおいても啓蒙を図っていくことが狙い。

※当金庫は 2021 年 6 月にホームページを更改しホームページ内に「地域密着ストーリー」というコンテンツを設けました（<https://www.shinkin.co.jp/seibu/about/blog/>）。

このコンテンツは職員が地域情報や日々の取組みをブログのように自ら記事を起案し発信できるもので、地域等の魅力や自らの活動を僚店や外部に発信でき、その活動がどの SDGs ゴールに該当するか考えさせる機会となります。これにより職員のモチベーションを高めつつ SDGs に資する意識向上、活動を実践していきたいものです。

※参考：ディスクロージャー2021.03

https://www.shinkin.co.jp/seibu/about/outline/disclosure/pdf/disclosure_2021_03.pdf

025-FY2021-02

信用金庫業界初「こどものみらい古本募金」への参画

【原則3】【原則7】

【特徴】

内閣府の子供の未来応援国民運動「こどものみらい古本募金」（https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/kikin/huruhon_bokin.html）の取組みに賛同し、2020 年 11 月より当金庫 15 店舗窓口に専用の回収ボックスを設置いたしました。本取組みは、読み終わった本を活用した寄付プログラムで、次世代を担う子どもたちの未来につなぎ、応援するものです。

回収した古本は開始 1 年（2021 年 10 月時点）で 1,000 冊を突破しました。

本プロジェクトを通して SDGs 項目「1.貧困をなくそう」、「4.質の高い教育をみんなに」、「12.つくる責任つかう責任」に貢献してまいります。

■ 静岡信用金庫

027-FY2021-01

環境基本方針の制定および「せいしん SDGs 宣言」の公表

【原則1】

静岡信用金庫では、環境問題への取組みを企業の社会的責任と認識し、当金庫の取組みが地域社会における環境対策の一助として拡がりを見せることができればと考え、2003 年より様々な環境活動を実施してきました。

2009 年 6 月には、環境問題への取組みに関する基本的な考え方を示す「環境基本方針」を制定し、電力やガソリン、コピー用紙の使用量削減等に継続して取り組んでおります。

(<https://www.seishin-shinkin.co.jp/about/environment/policy.html>)

2019 年 2 月には、これまでの活動を一層強化するとともに、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を経営の柱の一つに加えるべく、SDGs に関する取組方針や重点推進項目をまとめた「せいしん SDGs 宣言」を公表いたしました。

(<http://www.seishin-shinkin.co.jp/about/sdgs/>)

027-FY2021-02

環境配慮型金融商品の取扱い

【原則2】

当金庫は、様々な環境配慮型金融商品の取扱いを通じ、地域の皆さまとともに環境問題に取り組むことを目指しております。主な商品は以下のとおりです。

- ア. せいしん「環境格付融資Ⅱ」・せいしん「地元応援融資 成長サポート」
 - ・省エネ設備等の導入や、環境・エネルギー事業といった成長分野への進出を希望する事業者の皆さまをサポートする融資商品を取扱っております。
- イ. SDGs サポートローン
 - ・事業者の SDGs 取組み支援を目的とし、2019 年 12 月より取扱いを開始いたしました。静岡市の独自制度である「静岡市 SDGs 宣言書」を作成・届出した法人/個人事業主を対象とし、資金使途は「SDGs 達成に向けた取組みに必要な設備資金・運転資金」としました。
- ウ. せいしん自動車ローン「グッド」・せいしん「リフォームプラン」
 - ・エコカー購入や太陽光発電システムなどエコ関連設備等にかかる資金に対し、金利優遇を行っております。
- エ. 環境活動参加型定期預金・SDGs 応援定期預金
 - ・2007 年度より、販売総額の一定割合を環境団体等に寄付する仕組みを取り入れた定期預金を取扱っております。
 - ・2019 年より、SDGs の取組みを地域に普及・促進させることを目的に、定期預金「せいしん SDGs 応援定期預金『GOALSⅠ』」を販売し、販売総額の一部を SDGs に取り組む団体に寄付する仕組みを取り入れております。その後も『GOALSⅡ』『GOALSⅢ』等続けて販売し、地域の SDGs 取組み普及に努めております。

【特徴】

- ・2007 年度より継続している寄付金総額は 3,983 万円となりました。この寄付金は、県内小学校への出

張環境授業や子供向け普及啓発冊子の作成など、有効にお役立ていただいております。

- ・『GOALS』を成約いただいたお客さまに、「みんなの SDGs 宣言」「地域の SDGs 宣言」(※)などを記入いただきました。この宣言内容を取り纏めた結果は、SDGs に積極的に取組む静岡市に提供しており、今後の SDGs に関する施策展開に役立てていただく予定です。

(※) SDGs の 17 のゴールの内、関心がある項目または取組む項目を選んで記入するシート

027-FY2021-03

「静岡市河川環境アドプトプログラム」への参加

【原則3】

環境貢献活動の一環として、静岡市と合意書を交わし「静岡市河川環境アドプトプログラム」の活動を継続実施しております。本部全役職員が参加し、安倍川河川敷に散乱しているゴミなどの除去作業を行っております。

027-FY2021-04

営業店独自の活動

【原則5】

当金庫では、本支店に「エコリーダー」を配置するとともに、全役職員をあげて地球温暖化防止に向けた活動を日々計画的に実施しております。

【特徴】

当金庫独自の社内表彰制度「GREEN 表彰」を設け、各店が趣向を凝らして実施した活動を毎年審査・表彰しております。この活動は 2009 年度から取組んでおり、審査に協力いただいている「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」より、独自性ある取組みとして高い評価を受けております。

■ 京都信用金庫

034-FY2021-01

「SR・環境宣言」の制定

【原則1】

平成24年6月、「SR（社会的責任）・環境宣言」を制定しました。地域とともにSR・環境活動に取り組むために、当金庫の全役職員及び地域に対してSR及び環境に関する当金庫の基本理念と方針を示すものです。

当金庫は「持続可能な発展への貢献を最大化」することが最重要課題のひとつであることを認識し、「かけがえのない地球環境」を守り、エココミュニティの発展に全力で取り組んでまいります。

034-FY2021-02

環境配慮型金融商品の取扱

【原則2】

個人のお客様向けには「ECO 優遇サービス」や節電支援ローン「エナジーセーブ」、といった商品を取り扱っています。また、投資信託では、環境関連ファンドである「損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）」を取り扱っています。

034-FY2021-03

環境啓発活動

【原則3】

地域の皆様に当金庫の環境への取組を紹介しながら、ともに環境への関心を高めたり、科学の面白さを知っていただこうと、地域の小学生を対象にした「夏休み子ども環境教室」や「ワクワク夏休み親子イベント」を開催しています。

034-FY2021-04

森林保全活動

【原則3】【原則4】

①「京都信用金庫 絆の森」

滋賀県の琵琶湖森林づくり条例に基づき、地元の森林組合と「琵琶湖森林パートナー協定」を締結し、地域と協働で琵琶湖の清らかな水を育む森林を守る活動を推進しています。

協定に基づき、組合の所有する森林の一部を「京都信用金庫 絆の森」と名づけ、当金庫役職員とその家族が草刈や植林などの森林保全活動に取り組んでいます。

②「フォレスト・サポーターズ」への参加

平成23年5月より、美しい森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」に参加しています。

034-FY2021-05

地域の清掃活動

【原則3】【原則4】

① 地域の清掃活動

各店舗で、地域の一員としてNPO法人や町内会など、地域の皆様と協働で近隣の清掃活動を行っ

ています。

② 河川の清掃活動

環境保全活動の一環として、平成 23 年より大阪府と京都府の河川で、NPO 法人をはじめとする地域の皆様とともに清掃活動を行っています。大阪府では交野市と枚方市を流れる天野川において、シジミ、アユ、ホタルが生息できる清流にすることを目標に清掃活動に取り組んでいます。京都府では京都市を流れる桂川と山科川で活動に取り組んでいます。

034-FY2021-06

KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ2SRの認証取得

【原則5】

平成 22 年度より、京都から立ち上がった全国規模の環境マネジメントシステム「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ2」の認証を取得しています。

さらに平成 24 年 10 月、持続可能な発展への貢献を最大化するために、従来の環境マネジメントシステムに ISO 26000 の要素を導入した新規格「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ 2SR」の認証を全店舗で取得しました。

SR・環境マネジメントシステムの構築により、当金庫の活動及び金融商品・サービスに係る SR 活動の向上及び環境影響の低減を推進し、役職員一人ひとりが積極的に SR・環境活動に取り組んでいます。

034-FY2021-07

環境に配慮した店舗づくり

【原則5】

店舗の新築、改修の際に環境に配慮した店舗づくりを行い、事業活動から生じる環境負荷を最小限に抑えるため、「店舗新築、改修における環境基準」を制定しています。

平成 26 年 4 月に新築オープンした桂川支店では当金庫で初めて屋上緑化に取り組みました。地元の高校生が開発した京都固有のノシバを使った屋上緑化システムを導入し、生物多様性にも配慮しています。

034-FY2021-08

eco検定の受検推進

【原則7】

当金庫では、職員の環境に関する知識の向上と環境問題への対応に強い人材育成のため、「環境社会検定試験（eco 検定）」の受検を推進しています。

eco 検定を通して習得した環境についての幅広い知識を日常業務に活かし、CSR 活動に取り組んでいます。

034-FY2021-09

紙製のショッピングバッグとオリジナルエコバッグをノベルティに採用

【原則5】

プラスチックごみ削減のため、地域の皆様に環境を大切にしてくださいときっかけになればと「紙製のショッピングバッグ」と「オリジナルエコバッグ」の普及に努めています。

034-FY2021-10

「SDGs宣言」の制定

【原則1】【原則2】【原則5】【原則6】

SDGs が目標としている「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に貢献するため、コミュニティ・バンクの理念に基づき本業である金融サービスの提供を中心に地域から世界へ貢献することをめざし、その決意を表す「SDGs 宣言」を 2019 年 8 月に制定いたしました。

034-FY2021-11

職員が健康で働きやすい職場づくりと地域社会への健康経営の推奨

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

コミュニティ・バンクの一員として地域のお役に立つことを考え行動するためには、役職員が健康で楽しく、毎日を「働き甲斐」「生き甲斐」をもって仕事に取り組むことが必要不可欠であり、また役職員とその家族が健康で充実した生活を送ることで最良のパフォーマンスが発揮できると考えています。役職員一人ひとりが生き生きと活躍できる金融機関をめざし、2019 年 11 月に「健康経営宣言」を制定し、役職員とその家族、地域の皆様や地域社会の健康に取り組んでいます。

034-FY2021-12

地域のイノベーションを支援するファンド「イノベーション C ファンド」を設立

【原則2】

当ファンドは、当金庫営業エリア内の起業家やイノベティブなサービスやビジネスモデルにより地域経済の活性化に挑戦する企業へ資金を供給することで、当該企業の成長および社会課題解決等の実現に寄与することを目的としています。地域にイノベーションを起こす企業へのあらゆるサポートを行い、地域の絆づくり活動に取り組んでいます。

034-FY2021-13

世界初の禁煙ソーシャル・インパクト・ボンドへの投資

【原則1】【原則2】

2019 年 11 月に新店舗を豊中市にオープンしたことをきっかけに、豊中市のお客さまへ健康経営の普及を促し地域経済の活性化に貢献していくため、ESG 投資であるソーシャル・インパクト・ボンドに対し投資を行いました。

【特徴】

民間資金を活用して社会課題を解決する新たな民間連携手法であるソーシャル・インパクト・ボンドへの投資は、信用金庫として初めての取組となります。

034-FY2021-14

日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」へ投資

【原則1】【原則2】

2020 年 6 月、独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資を実施。当金庫では、本債権を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンド（SDGs 債）への投資を継続的に実施することで、今後も社会的役割を果たしてまいります。

034-FY2021-15

ハチドリ電力を導入

【原則3】【原則4】【原則5】

「ハチドリ電力」とは CO₂ ゼロの実質自然エネルギー100%で、火力発電による排出されていた CO₂ を削減し、地球温暖化の防止に貢献しています。また、NPO 法人を始めとした社会活動に取り組んでいる個人・法人に、電気料金の 1%を支援しています。この環境と社会のより良い未来のために、今わたしたちに出来ることとして「ハチドリ電力」を導入します。

034-FY2021-16

Community Building 「QUESTION」

【原則 1】【原則2】【原則3】

地域の人と人、事業と事業をつなぐ温かい交流の場を目指した Community Building です。地域にある様々な社会課題や中小企業が抱える事業の課題、創業間もない起業家の課題、将来に希望と不安を抱える学生の課題を、当金庫とパートナー企業と一緒に解決していくことをコンセプトに、豊かな地域社会の共創を目指します。

■ 中日信用金庫

036-FY2021-01

「エコ設備投資応援ローン」の取扱い

【原則1】【原則2】【原則3】

愛知県信用保証協会と連携し、省エネ、省電力、環境に配慮した設備投資等の資金について融資する金融機関提案型の商品。他商品より金利の設定を低くしています。また、事業計画策定のお手伝いや、計画の進捗状況のフォローアップ、課題解決のためのソリューションの提供など、必要に応じて外部専門機関とも連携のうえ、顧客の経営支援をしています。(2015 年 8 月～)

036-FY2021-02

エコ定期「私はCO₂削減を宣言します！定期」の取扱い

【原則1】【原則3】

環境省が推進していた「私のチャレンジ宣言」(1 人 1 日 1kg CO₂削減)キャンペーンに賛同し、チャレンジ宣言カードをご持参の方に預金金利を優遇するもの。また、預入残高に応じ当金庫が環境保全団体へ寄付することで、預金者は間接的に寄付に参画できる仕組みとしました。(2007 年 8 月～2008 年 9 月)

【特徴】

この取り組みを通じ「私のチャレンジ宣言」の参加者を増やし、CO₂削減の行動を後方支援しました。

036-FY2021-03

「生物多様性について考えてみませんか定期」の取扱い

【原則1】【原則3】

地元名古屋での COP10 開催(2010 年)を控えた 2009 年、インパクトのある名称の定期預金を取扱い、チラシや店頭で生物多様性に関する情報提供や店内装飾をすることで、当時認知度が低かった生物多様性や COP10 について、地元の関心を高めました。また、預入残高に応じ当金庫が「COP10 支援実行委員会」等へ寄付する仕組みとしました。初回リリースは「国際生物多様性の日(5/22)」としました。(2009 年 5 月～2010 年 10 月)

【特徴】

生物多様性や COP10 について地元で関心を高める契機となり「生物多様性日本アワード」優秀賞を受賞しました。

036-FY2021-04

法人格付における「生物多様性」に配慮した取り組みの評価

【原則1】【原則3】

取引先企業の生物多様性保全に配慮した取り組みを評価し、法人格付に反映する仕組みを導入しました。中小・零細企業が多いため、評価する内容は簡便なものとし、取り組みやすいものにしました。(2010 年 4 月～)

【特徴】

法人格付アップは融資金利が有利になるため、企業の生物多様性保全に配慮した行動の動機付けにつながっています。

036-FY2021-05

エコビジネスローン「元気くんG(グリーン)」の取扱い

【原則1】【原則3】

生物多様性や環境に配慮した取組みに関する資金について、無担保で融資する商品。当金庫の他の無担保商品より金利体系を低く設定しています。また、当該企業の生物多様性や環境に配慮した取組状況によって、さらに金利を優遇しています。(2010年6月～)

【特徴】

企業の生物多様性や環境に配慮した行動を、融資金利優遇の形で後方支援しています。

036-FY2021-06

地元中学校に対する生物多様性参考図書寄贈

【原則1】【原則3】

名古屋市中、当金庫の本支店の在する市町の全公立中学校に対し、生物多様性関連の啓発図書を寄贈しました。(2012年5月)

【特徴】

将来を担う若い世代に対し、生物多様性の重要性に関心をもってもらうきっかけ作りの役割を果たしました。

036-FY2021-07

「つなげよう！生物多様性 定期」の取扱い(2012年2月～2012年4月)

【原則1】【原則3】

「生物多様性について考えてみませんか定期」(2009年5月～2010年10月)のリニューアル版として、取扱いを再開しました。2010年に地元名古屋で開催されたCOP10終了後も引き続き、地域の方々に生物多様性への関心をもってもらい、目的で取扱いをしました。「生物多様性について考えてみませんか定期」同様に預入残高に応じ、生物多様性保全を支援する団体等へ寄付する仕組みとなっています。

036-FY2021-08

「みどりいっぱい！ 定期」の取扱い

【原則1】【原則3】

名古屋市等における都市緑化活動等を行っている団体等とタイアップし、当定期預金の取扱いを通じ、都市緑化活動への啓発等を行った。また、預入残高に応じ当金庫がその団体等へ寄付を行う仕組みとした。

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
月	5月～7月	5月～7月	5月～7月	6月～8月	6月～7月	6月～8月	6月～8月	6月～8月

036-FY2021-09

名古屋市で開催される「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」への寄付

【原則1】【原則3】

「ESDに関するユネスコ世界会議」は、環境問題などの現代社会の課題等を身近なところから取組むことを目的としており、地域において話題等にすることに努め、少しでも普及啓発の役に立ちたいと考え、寄付をしました。(2014年6月)

036-FY2021-10

環境に配慮した商品(消費者ローン)の取扱い

【原則2】

- ・「エコカー減税」対象車の新車購入資金に係る自動車ローンについて、低廉な金利・保証料設定での取扱い。(2009年5月～)
 - ・太陽光発電等のエコ関連の購入、設置に係るリフォームローンについて、低廉な保証料設定での取扱い。(2013年1月～)
-

036-FY2021-11

環境配慮型店舗の開設

【原則5】

西春支店開設(2006年10月)をはじめ、清洲支店(2010年12月)、尾張旭支店(2011年12月)、名古屋支店(2013年4月)、名東支店(2014年7月)、中川支店(2015年12月)と、店舗新築の都度、太陽光発電システム、風力発電システム、駐車場の壁面・路面緑化、LED照明設置等、環境に配慮した店舗設計としています。

036-FY2021-12

電動バイクの導入

【原則5】

本店および西春支店に「電動バイク」を3台導入し、二酸化炭素の排出削減に役立てています。(2010年3月～2019年3月)

036-FY2021-13

景品袋の廃止

【原則5】

近年、「プラスチックごみ」による海洋汚染が世界中で問題視されており、コンビニや小売店等でレジ袋が廃止・有料化されたことなどを踏まえ、当金庫においてもSDGsへの取り組みの一環として、石油原料の「景品袋」を廃止しました。(2020年7月)

■ 大和信用金庫

043-FY2021-01

大和川の水質改善応援定期預金「大和川定期預金」の取扱い

【原則2】

全国一級河川の中で、水質ワーストワンが続いていた大和川の水質改善を願い、BOD 値の改善度合いによって、定期預金の金利を上乗せする「大和川定期預金」を 2006 年より取り扱っています。

なお、2020 年度、2021 年度につきましてはコロナ禍であることを踏まえ、募集を見合わせました。

【特徴】

大和川の水質改善が進み、これまでに 10 の環境各賞を受賞しています。

043-FY2021-02

エコ住宅を対象とした住宅ローン及びリフォームローンの取扱い

【原則2】

エコ住宅（①オール電化住宅、②省エネ設備等の設置住宅、③太陽光発電設備設置住宅、④合法木材供給事業者から調達した合法木材使用住宅）を対象とした住宅ローン及びリフォームローンについては、金利を優遇しています。

043-FY2021-03

「クールビズ」及び「ウォームビズ」の実施

【原則5】

平成 17 年度より「クールビズ」及び「ウォームビズ」の実施により、消費電力の削減に取り組んでいます。また、全店に LED 照明などの省エネ照明を導入しました。

043-FY2021-04

環境に配慮した店舗

【原則5】

2020 年 5 月に新築移転を行った榛原支店に太陽光発電設備を設置すると共に、電気自動車を配備し環境に配慮した店舗としました。

■ 桐生信用金庫

056-FY2021-01

カーボンオフセット通帳の導入

【原則2】

2011年2月より、計6種類の通帳を群馬県内の金融機関で初となる「カーボンオフセット」を利用した環境配慮型通帳に切り替えを行いました。当金庫が発注した通帳の製造工程で発生するCO₂を計量し、その排出量に見合う削減活動を、カーボンオフセットプロバイダーに依頼して実質排出量を相殺（オフセット）させる仕組みです。当金庫では、年間約90,000冊の通帳を発行しており、これにより年間で約4tのCO₂を相殺することが可能となっています。

【特徴】

オフセットの仕組みを通帳に組み入れました。

056-FY2021-02

「地球温暖化防止計画」策定、「環境問題取組方針」の制定、「群馬県環境GS」の認定

【原則5】

当金庫が独自に策定した「きりしん地球温暖化防止計画」に基づき、2008年度より電力・ガソリン・コピー用紙の使用量を毎月全店舗から報告させ、使用量の削減に向けた取組みを行っています。それぞれの目標については、これまで2009年度比▲10.5%を目標としていましたが、すでに目標を大幅に達成している電力、コピー用紙については、独自の目標を設定し、さらなる削減を目指しています。また、2011年度からは、環境問題への取り組み姿勢をより地域の皆さまに知ってもらうため、「環境問題取組方針」を制定したほか、新たな金庫統一の取組みとして、群馬県内の全ての店舗、および出張所が「群馬環境GS（ぐんまスタンダード）」に申請・認定を受け、継続16年目となっています。

056-FY2021-03

店舗照明のLED化・太陽光発電システムを導入

【原則5】

移転新築や建て直しをした店舗では、太陽光発電システムや全照明のLED化を進めています。現在、当金庫の太陽光発電システムの導入店舗は8店舗（大泉・玉村・相生・川内・薮塚・久宮・新田・新桐生）、店舗内照明については平成25年5月に新築移転した玉村支店を皮切りに、その後改装や建て替えを行った店舗の照明は全てLEDとしています。

【特徴】

環境負荷の軽減。

056-FY2021-04

出資証券のペーパーレス化

【原則5】

会員としての地位や権利には影響が無いことから、会員にとっては紛失・盗難などのリスクを排除、当庫にとっては発行・受渡・回収にかかる事務リスクの排除やコストの削減、さらに紙の使用量削減を通して、環境への配慮を目的としています。

【特徴】

環境負荷の軽減。

056-FY2021-05

地域清掃活動

【原則7】

全役職員を対象とした地域清掃活動を、1年を通じて継続的に実施しています。また、2018年度からは各地域の祭り開催後の清掃活動に参加する等、地域とより密接に関わるような清掃活動を行っています。今後も営業エリアや営業店ごとに地域の環境団体などと協力した清掃活動を行なっていきます。

056-FY2021-06

「カッコソウ」の保全活動を目的とした寄付およびロビー展の開催

【原則7】

世界で鳴神山（なるかみやま桐生市・みどり市）だけに生育する大変希少な植物「カッコソウ」の周知と保全活動支援を目的に、200,000円を桐生市自然観察の森に事務所を置くカッコソウ協議会へ寄付しました。また、みどり市内2店舗においてカッコソウのロビー展示も行い、一般のお客さまへの周知にも努めました。

【特徴】

カッコソウは絶滅危惧IA類（環境省第4次レッドリスト）に指定されている植物です。

056-FY2021-07

「きりしん SDGs 宣言」の公表および SDGs の推進

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

当金庫では、地球全体の課題を解決し持続可能な社会の実現を目指す SDGs に賛同し、令和元年9月2日に「きりしん SDGs 宣言」を行いました。～みんなで地球を救おう～を合言葉に、当金庫が取り組むべき目標を「地域・連携・環境・ガバナンス・挑戦」の5つのカテゴリーに分類し、それぞれの目標達成を目指します。また、2007年に発足した「CSR推進委員会」の名称を「SDGs・CSR委員会」に変更し、現在取り組んでいる CSR 活動と SDGs を統合することにより、当金庫の社会的責任を果たすと同時に地球全体の課題解決に取り組めます。

■ 中央労働金庫

063-FY2021-01

社会的責任投資の取り組み

【原則1】【原則4】【原則5】【原則6】

有価証券の運用において、企業の社会的責任を判断する場合の基本的な考え方である ESG のうち、環境面「E」および社会面「S」を重視し、環境保全や社会配慮などへの取り組みに優れた企業の社債・株式に投資を行っています（2020 年度末残高：約 705 億円）。

【特徴】

社会面（S）は、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の概念を取り入れ、「人材活用」の分野に着目し、「働く人のための金融機関」としての社会的責任に配慮した資金運用を行っています。

063-FY2021-02

日常業務における職員の意識向上の取り組み

【原則1】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」に賛同登録し、以下の通り CO₂削減に取り組んでいます。

- ① COOL CHOICE ロゴマークを活用し、節電や階段利用の促進など、役職員の省エネ・省資源の取り組みを促しています。
- ② 店舗や事務所内の適切な室温設定に努めており、また「働き方改革」・「健康経営」の一環として通年ノーネクタイ勤務を実施しています。
- ③ 「働き方改革」および節電対策による CO₂ 削減を果たす観点から、全職場一斉に定時退勤する「R-DAY」を毎週設定し、更に部署ごとに月 1 回以上の独自「R-DAY」を設定することで、管理職を含めて定時退勤ができるよう業務調整・管理を行っています。また、通年で 20 時まで（1 月・8 月は 19 時まで）に業務を終了し、消灯・退館する「ライトダウン運動」を導入しています。

【特徴】

各種日常業務での取り組みを通じて職員の省エネに対する意識を高めています。

063-FY2021-03

グリーン購入の推進・ペーパーレス会議の推進

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

事業の事務運営に関わる環境負荷を軽減するため、紙のグリーン購入や庫内会議のペーパーレス化に取り組んでいます。

- ① コピー用紙のグリーン購入
庫内で使用するコピー用紙は、全てグリーン購入法適合のリサイクルペーパー（古紙パルプ配合率 100%、グリーン購入法総合評価値 92、GPN 掲載用紙）を使用しています。
- ② FSC 森林認証紙の活用
総会の議案書やディスクロージャー誌、全役職員の名刺について、FSC 森林認証紙を使用しています。

③ 庫内会議のペーパーレス化

紙の使用量の削減および会議運営の効率化を図る観点から、タブレット端末を使用して庫内会議を実施しています。

④ 書類・コピー用紙等のリサイクルと再生商品の積極利用

各事務所より排出される機密文書等の書類・コピー用紙の処分について、再資源化が可能な溶解・リサイクルシステムを導入しています。

本店ビルにおいては、再資源化によるトイレットペーパー（金庫排出紙の溶解処理を行っている工場で生産される再生商品）を購入し、積極的に利用しています。

【特徴】

日常業務で使用する紙のグリーン購入やペーパーレス会議の推進に積極的に取り組むことで、環境や社会問題に対する役職員および利用者の意識向上を図っています。

063-FY2021-04

中長期的な環境負荷軽減・省エネ施策等の措置

【原則1】【原則5】【原則6】【原則7】

- ① 営業車として電気自動車を3台導入しているほか、改正省エネ法に基づく施策として、店舗への環境配慮型設備の導入を推進しています。
- ② 使用電力をモニタリングする「デマンド監視装置」を設置（機器設置可能拠点）しています。
- ③ 店舗修繕改修時におけるガラス遮熱フィルム貼、および、店舗新築時の複層ガラス仕様を導入しています。
- ④ 店舗移転・建替・中長期修繕計画における、高効率の空調設備や照明等を積極的に導入しています。

なお、これらの営業店等の各拠点の節電実績（対前年比）は、庫内イントラネットで公表し、拠点における節電意識の向上に取り組んでいます。

【特徴】

積極的な省エネルギー施策により、電力需要の大幅削減を目指しています。

■ 盛岡信用金庫

067-FY2021-01

「もりしんカーライフプラン・エコ」の取扱い

【原則2】

もりしんカーライフプラン・エコを2010年9月から取扱開始しました。

電気自動車（燃料電池車を含む）、ハイブリット車、低燃費・低排出ガス車等、自動車重量税、自動車取得税が減免される自家用車の購入に利用できるローン商品です。

【特徴】

従来のマイカーローン（当金庫商品名：カーライフプラン）に比べ低廉な融資保証料の適用により、エコカー普及に寄与するものです。

067-FY2021-02

住宅ローン金利に、自然エネルギー関連設備、環境配慮型住宅設備設置の優遇項目の設定

【原則2】

3年・5年・10年固定期間選択型および、最長35年間固定型金利プランに関し、再生エネルギー関連設備設置（太陽光発電設備、風力発電設備、地下熱利用設備、ペレットストーブ等）、環境配慮型住宅設備設置（エコキュート、エコジョーズ、エネファーム等）の場合、基準金利からそれぞれ0.05%金利優遇を行っています。

【特徴】

金利優遇制度による持家意識の助長、自然エネルギー関連設備の普及により低炭素型社会の形成に取り組むものです。

067-FY2021-03

「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援

【原則3】

当金庫では、再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進、支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

地域内での促進を図るため、自治体等への提案を行い地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として域外へ流出していた資金を域内で循環させていくエネルギー版「地産地消方式」を積極的に促進していきます。これらにより、新たなビジネス、雇用を創造すると共に地域の活性化を目指していきます。

なお、紫波中央駅前の再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅への木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うための、エネルギーステーション建設計画を支援しました。

【特徴】

公共施設や企業、家庭などへ最適な自然エネルギー設備を選定、設備の設置・保守・運営を行い、低炭素社会・循環型社会によるCO₂削減と地域活性化に貢献するものです。

067-FY2021-04

「もりしん共存同業の森」

【原則4】

森林整備を行うことにより、水源涵養などの森林の公益的機能の向上を目的として、平成 23 年 11 月、紫波町と「紫波企業の森づくり」活動の協定を締結しました。

間伐により発生した木材は、木質チップとして再資源化することにより、地域資源の有効活用に繋がります。この活動は、平成 24 年から 15 年間にわたり実施し、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環となります。

令和 3 年度は、6 月 19 日に第 10 回 紫波企業の森づくり「もりしん共存同栄の森」森林環境保全活動を実施しました。今般の新型コロナウイルス感染防止のため、例年実施していた丸太・小枝等の搬出作業は中止し、当金庫役職員 23 名参加による「紫波町の森林資源循環の取組」について講義受講、「もりしん共存同栄の森」現地視察、地元温泉館「再生可能エネルギー施設」見学、「令和の森」育樹作業とクスギの植樹を行い、環境保全の理解を深めました。

【特徴】

森林の再生に繋がると共に、伐採材をバイオマス利用し、同地温泉施設のチップボイラーの燃料として使用することで、木質材料を利用した供給から消費までのサプライチェーン化が図られるものです。

067-FY2021-05

カーボンオフセット通帳・証書の導入

【原則5】

当金庫の定期性預金証書および普通預金・総合口座通帳等の製造過程において、年間約 673 kg の二酸化炭素（CO₂）排出量を削減しております。

【特徴】

地産地消型のカーボンオフセット通帳を特徴としています。

067-FY2021-06

「森林再生活動」の取り組み

【原則7】

平成 20 年より、荒廃裸地化した鉱山跡地を森林に戻そうと「八幡平松尾鉱山跡地」の森林再生活動に取り組んでいます。

これまでに 285 区画 1,011 本の苗木を植樹し、最初に植樹した苗木は 9 m を超える樹木に成長したものもあり、少しずつ森が形成されています。

【特徴】

職員の環境意識向上により、森林再生による CO₂削減、環境保全が期待できます。

067-FY2021-07

夏季および冬季節電対策の取り組み

【原則7】

政府からの「電力供給対策（要請）」および「信用金庫の環境問題への取組みに関する指針」に基づき、平成 22 年度より電力使用量削減に取り組んだ結果、平成 22 年度比 27.93%使用料削減となりました。近年、東北地方においても夏場の気温上昇が続いており、電力使用量も増加傾向にありますが、今後もクールビズ・ウォームビズの実施、室温設定（夏季 28℃、冬季 20℃）、照明・OA 機器等の節電に取り組んでまいります。

【特徴】

日常業務における実践を通し、環境や社会問題に対する意識向上を図っています。

■ 東海労働金庫

070-FY2021-01

東海ろうきんエコアクション

【原則1】【原則7】

「環境方針」に基づいて「全体・部店エコアクション目標」を設定し、年1回以上開催の環境管理委員会で進捗状況を確認しながら、取組みを継続実施しています。

【特徴】

- ・部店ごとの特色のあるエコアクションの展開
- ・営業店で保持していた過剰文具を総務人事部で回収し、希望する他の営業店に提供。

070-FY2021-02

紙の使用量を減らす取組み

【原則5】

本部ビル内におけるペーパーレス会議の導入

【特徴】

- ・事務運営に関する環境負荷を軽減するため、紙の使用量を減らす取組みの一環として本部ビル内の会議では電子媒体を使用した会議を導入しています。

070-FY2021-03

日常業務として行う環境活動

【原則5】【原則7】

日常業務の中に環境活動を取り入れることで職員一人ひとりの向上を目指しています。

【特徴】

- ・管理職も含めた定時出勤・退勤を目指した取り組みを、スーパーノー残業デーと名づけて実践しています。職場の点灯・消灯時間を管理することで職員の意識向上と電気使用量の削減を図っています。

■ 碧海信用金庫

075-FY2021-01

- ・クールビズ、ウォームビズの実施
- ・省エネ設備(省エネタイプの空調機、照明器具への更新等)の導入
- ・エレベーター利用の制限(階段利用の促進)
- ・空調機の温度管理
- ・退庫予定時刻 30 分前の空調停止
- ・本部、事務センター内のデマンド管理による空調管理
- ・会議室等、照明のこまめな ON、OFF

【原則5】

- ・クールビズ（5～10 月）、ウォームビズ（11～3 月）の実施
- ・新築店舗への太陽光発電設備の導入
- ・照明設備の LED 化の促進
- ・エレベーター利用の制限（2 段上がり、3 段さがりはエレベーターを使用しないことの促進）
- ・空調機の温度管理（夏場は 28 度、冬場は 20 度を目安に）
- ・本部建物のデマンド制限（電力ピーク値を前年比よりカットする運用）による空調管理

■ 豊橋信用金庫

076-FY2021-01

環境保全に対応した商品の取扱い

【原則2】

・「オール電化住宅ローン」「エコガス住宅ローン」の取扱い

オール電化住宅等の省エネ住宅の新築や購入、増改築資金に対して 3 年間、当金庫所定の金利から 0.2%の引下げをしています。

・「リフォームプラン・エコ」の取扱い

エコ関連設備の購入・設置資金およびそれに伴うリフォーム資金などに対して、2.80%（保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。

・「エコ応援定期預金」の取扱い

省電力、節電に取り組むお客様を応援するため、① 前年の同月と比べて、電気使用量が削減された世帯の方もしくは② 太陽光発電システム、エコジョーズ、エコフィール等のエコ関連設備投資を現金 10 万円以上で行った世帯の方を対象として、スーパー定期 1 年ものの店頭表示金利に 0.05%の上乗せ（1 人あたり 100 万円以内）をしています。

・「エコ応援ローン」の取扱い

太陽光発電システム、エコジョーズ、エコフィール等のエコ関連設備資金（借換にはご利用できません）に対して、当初 3 年間 1.20%・4 年目以降は 1.50%（保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。

076-FY2021-02

エコキャップ推進運動

【原則3】【原則5】

2011 年 5 月から、環境改善への取組みの一環として、ペットボトルのキャップを回収し、再資源化を促進する「エコキャップ推進運動」を開始しました。

回収したキャップを再資源化することで二酸化炭素の発生が抑制でき、また、再資源化により得た収益金は、発展途上国の子どもたちへのポリオワクチン提供に役立てています。

回収ボックスは、全営業店、本部、お客様相談所など計 36 ヶ所に設置しています。

回収累計は、2021 年 11 月末現在で 1,980 万個を超えました。

076-FY2021-03

その他の取組み

【原則3】【原則5】【原則7】

・530（ごみゼロ）運動の実施

1975 年より春と秋の年 2 回、全役職員が地域の清掃奉仕活動に参加し、環境美化に取り組んでいます。

・「朝倉川育水フォーラム活動」への参加

牛川支店をはじめ近隣 4 店舗の職員及び とよしんボランティア部の職員が、河川の再生と環境改善に取り組む活動へ参加しています。

・各店舗にて周辺地域の清掃活動を実施

創立 100 周年を迎え、各店舗が地域貢献活動に取り組む一環として、支店近くの公園などの清掃や、各地域のボランティア活動に参加するなど、地域の環境保全に取り組んでいます。

・エコ検定の受験を奨励

環境問題に対する意識向上のため、東京商工会議所が主催する「エコ検定」の受験を奨励し、2021 年 10 月末現在で 519 名の役職員が合格しています。

・粗品袋の変更

SDGs の観点から環境に配慮し、ビニール製から紙製の粗品袋へ変更しています。

076-FY2021-04

環境保全への取組み

【原則5】

環境保全のため地球温暖化対策として「エコアクション 15%」の活動を展開しています。電気使用量については、令和 3 年度は令和 12 年度に向けた新たな業界数値目標を基に、新たな基準年度（平成 21 年度）比 12.00%削減を目標に数値目標を設定し活動しています。

また、CO₂ 排出削減のため「クールビズ」および「ウォームビズ」を実施しています。車両燃料（ガソリン）、ガス、コピー使用量については、2013 年度から 8 年間で基準年度比 15%削減を目標に数値目標を設定し、役職員が一丸となって環境改善に取り組んでいます。

076-FY2021-05

環境配慮型店舗の開設

【原則5】

2010 年 6 月に新城支店、2011 年 1 月に田原支店、2012 年 1 月に問屋町支店、2014 年 6 月に豊川支店、2018 年 12 月に大岩支店を環境配慮型店舗として新築オープンしました。環境面への配慮として、5 店舗とも太陽光パネル付 LED 外灯の設置や一部照明に LED を採用（豊川支店、大岩支店はロビー・営業室にも LED を採用）し、田原支店、問屋町支店、豊川支店、大岩支店には、断熱性能が高い複層ガラスや省エネ型照明機器（初期照明補正機能付蛍光灯）、雨水利用システムを採用しています。駐車場には夏場の温度上昇を低減させる浸透性・保水性舗装を採用（豊川支店は採用せず）しています。

また、問屋町支店には、新たに LED 内照式ポール看板を設置しました。

076-FY2021-06

電気自動車の導入

【原則5】

本店営業部の営業用車両に「電気自動車（日産：リーフ）」を導入しました。導入した電気自動車は、ガソリンをまったく使用せず電気だけで走行可能（8 時間の充電により約 200 キロ走行）なため、二酸化炭素を排出しない環境にやさしい自動車となっています。

2017 年 2 月に本部の営業用車両にガソリンエンジンで発電し、蓄電された電気で走行する環境にやさしい低燃費モデルの自動車を 6 台導入しました。

076-FY2021-07

SDGs 宣言の表明

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

【特徴】

日々の信用金庫活動を SDGs に結びつけ、「経済」「社会」「環境」の分野に関する取組みを通じ、当金庫の基本方針のもと、地域金融機関として地域社会の課題解決を実践し、持続可能な社会の実現に向けた活動することを示すものとして、2020 年 4 月に「豊橋信用金庫 SDGs 宣言」を表明しました。「経済」では“地域産業の持続的な成長”、「社会」では“持続可能な地域づくりへの貢献”、「環境」では“環境保全のための地球温暖化への対応”として、3 つの分野に関連付けて取組んでいます。

2020 年 7 月からは、地方自治体が創設した「SDGs パートナー制度」に登録された企業を対象とする「SDGs ローン」の取扱いを開始しています。

■ 近畿労働金庫

089-FY2020-01

環境委員会の設置、環境改善活動の推進

【原則1】【原則7】

2002年6月に「近畿ろうきん環境宣言」を制定し、環境マネジメントマニュアルに基づく取組みを継続しています。全部署において環境にかかる年間計画の策定や進捗状況の点検の他、環境に関する法律や条例の調査、環境に関する苦情対応、職員への環境教育や啓発など、環境マネジメント活動に取り組んでいます。

089-FY2020-02

ペットボトル・キャップのリサイクルへの協力

【原則3】

2006年9月より、淡海フィランソロピーネット（滋賀県社会福祉協議会、滋賀県労働者福祉協議会、滋賀県内企業などで構成された社会貢献推進組織）が進める「ペットボトルのキャップリサイクル事業」のモデル会員として、協力しています。当金庫では、滋賀県内の職場はもとより、すべての職場での取組みとして、広く職員の参加を呼びかけています。

【特徴】

ペットボトル・キャップ回収の試みは、キャップを集めてチップ化し、プラスチック商品に再生することで、①地球環境保護活動の推進（省資源）②障がいのある方の就労支援、を達成しようというものです。

089-FY2020-03

「祇園祭ごみゼロ大作戦」、「天神祭ごみゼロ大作戦」への協賛とボランティアスタッフとしての職員参加

【原則1】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

当金庫は、環境宣言で謳う環境マネジメント活動の推進の一つでもある「地域の環境改善活動への参加」として、「祇園祭ごみゼロ大作戦」、「天神祭ごみゼロ大作戦」に協賛し、当実行委員会が発行する「ボランティアスタッフ募集」チラシを各営業店に設置するなどの広報協力、ならびに当金庫職員のボランティアスタッフへの参加を行っています。

【特徴】

「ごみゼロ大作戦」では『みんなで楽しく、世界に誇れる祭りをつくり上げよう！』と呼びかけ、くり返し何度でも洗って使用できる「リユース食器」を露店に導入することで、ごみ減量と散乱ごみの防止をめざしています。大小の「エコステーション」が会場に設置され、リユース食器と資源（ごみ）の分別回収の拠点となっています。ボランティアスタッフは、ステーションから祭り客に対し分別廃棄の呼びかけ・誘導、および路上ごみの回収を行います。また、祭りの準備の時間帯には、各露店に「リユース食器」の持ち込みなども行っています。

089-FY2020-04

社会貢献プロジェクト・笑顔プラス

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

社会貢献預金（笑顔プラス）は、ご預金を通して、近畿2府4県の地区別団体（10団体）と近畿共通団体（2団体）それぞれの各活動分野の市民活動を応援するものです。寄付先団体との連携による「社会貢献プロジェクト・笑顔プラス」では、セミナー・シンポジウム、視察・体験ツアー、各種イベントなどを

企画し、寄付行為のみにとどまらず、預金者・ろうきん利用者・労働組合のみなさんとともに、社会貢献・社会活動への参加を呼びかけ、よりよい社会づくりをめざしています。

【特徴】

上記の取組みを推進するため、毎年度の「環境改善目標のガイドライン」において『社会貢献預金（笑顔プラス）の推進』を重点目標の一つにあげるとともに、各営業店の目標を定めています。

■ 二本松信用金庫

093-FY2021-01

環境配慮型金融商品の取扱

【原則2】【原則4】

環境問題に積極的に取り組む企業を投資対象とした「損保ジャパングリーンオープン（ぶなの森）」など環境に関連する投資信託を取り扱っています。

平成 24 年 11 月より、太陽光発電システムをはじめとする「再生可能エネルギー事業支援融資」の取扱を、また令和 3 年 2 月より、企業が SDGs の理念である「持続可能な社会の形成に」を実現するための融資商品「まつしん SDGs ローン」の取扱を開始し、地域企業などの環境配慮への意識向上に資することを目指しております。

また、持続可能な社会の形成の達成に向けて、「しんきん SDGs 私募債（寄附型）「ちいきのミライ」、しんきん SDGs 私募債（福利厚生型）「ベネフィットサポート」の取り扱いを開始しております。

093-FY2021-02

地球温暖化防止に取り組む「福島議定書」事業への参加

【原則1】【原則5】【原則7】

当金庫では、地球温暖化防止に向けて福島県内事業所が自主的目標を定めて取り組む「福島議定書」事業に参加しています。

平成 19 年度よりクールビズ、ウォームビズを実施し、二酸化炭素排出量の削減等地球温暖化対策に努めております。

093-FY2021-03

「こどもの未来古本募金」運動の展開

【原則4】【原則7】

こどもの貧困解消に取り組む官公民の連携・協働プロジェクト「子供の未来応援国民運動」に賛同し、古本回収ボックスを店舗に設置、お客さまや役職員から回収した古本を引き取り業者が査定し、買取額が「子供の未来応援基金」通して子供たちを支援する活動をしている NPO 等の団体に寄付される取り組みを行っております。

■ 大阪厚生信用金庫

097-FY2021-01

クールビズ、ウォームビズ、緑化活動

【原則1】【原則5】

大阪厚生信用金庫では、「Fun to Share」に参加するとともに、地球温暖化防止対策の一環として、「クールビズ」「ウォームビズ」を実施しています。また、ヒートアイランド現象の対策や節電を目的として、本部と営業店で緑化活動に取り組んでいます。

(<http://www.co-sei.co.jp/topics/coseiecocoolbiz.html>)

(<http://www.co-sei.co.jp/topics/coseicowarmbiz.html>)

(<http://blog.goo.ne.jp/sheshenina/c/45e795389950f7a45e0253dcd8279a8c>)

097-FY2021-02

エコ定期「わかば」、地球温暖化対策支援ローン「こうせいエコ計画」

【原則2】

エコ定期「わかば」の期末の預入残高に応じて、大阪府みどりの基金へ寄付を行い、大阪府の緑化の推進および良好な自然環境の保全に協力しています。

097-FY2021-03

エコ blog

【原則6】

大阪厚生信用金庫は、環境関連の活動として行っている様々な取組みを、「エコ blog」として紹介しています。(<http://blog.goo.ne.jp/sheshenina>)

097-FY2021-04

小学生対象のミニバスケットボール大会の開催支援、少年野球教室、教育についての講演会の開催

【原則7】

地域の子供たちの健全な育成、地域スポーツの活性化を願い、平成 25 年より地域のミニバスケット連盟主催の大会に特別協賛しています。「CO-SEI CUP」と名称し、この大会の出場を目指し、大阪市内の約 150 チーム、約 3,000 人の小学生が予選を戦います。この大会は地元のプロバスケットボールチームの後援も得て、地域を盛り上げる取り組みとなっています。また地域の子供たちの心身の健全な育成に貢献できるように、当金庫野球部員による「ふれあい少年野球教室」や、創業 95 周年記念（平成 29 年度）には尾木直樹氏・アグネス・チャン氏を招いての講演会も開催し、入場料を「大阪教育ゆめ基金」へ寄付する等の取り組みを行っています。感染症拡大防止の観点から、2020 年度の取組みは中止いたしました。今後状況を見て再開する予定です。

【特徴】

当日の運営補助について、職員の中よりボランティアを募集し、地域貢献活動を行っています。

097-FY2021-05

CO-SEI チャリティコンサートの実施

【原則3】【原則4】【原則7】

平成 21 年から、当庫では「CO-SEI チャリティコンサート」を開催しています。こちらは、大阪の緑化

の推進や良好な自然環境の保全を通じて、地域社会に貢献することを目的としたものです。当庫の役職員だけでなく、当庫のお取引先や地域の方々にも多数ご来場いただいております。約 1,200 名様のチケット代金と当日の募金は「大阪府みどりの基金」へ全額寄付しています。感染症拡大防止の観点から、2020 年度、2021 年度の実行は中止いたしました。今後状況を見て再開する予定です。

097-FY2021-06

ソーラーパネルの設置

【原則5】

当庫では、店舗の屋上にソーラーパネルを設置し、CO₂削減を推進しています。既存店舗だけでなく、新店舗にも積極的にソーラーパネルを導入しており、環境負荷の軽減に努めています。

097-FY2021-07

夏期早帰り運動

【原則5】

節電の取組みとして、当金庫では7～8月の業務終了時間を15～30分繰り上げています。始業時間は変更していません。この取組み実施以前から夏期は定時退庫を励行していましたが、より節電を意識するために、現在では業務終了時間を繰り上げています。例年7月、8月の2ヶ月間のみ取り組んでいますが、業務効率化推進や感染症への感染リスク低減策として、昨年度は7～11月の5ヶ月間に延長して取り組みました。

097-FY2021-08

SDGs宣言

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

2019年4月、当金庫はSDGsに取り組むことを宣言しました。当金庫では「地域金融の使命を自覚し、地域社会の繁栄に貢献する」ことを経営理念の一つとして掲げており、これは、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」と目的を同じくするものだと考えています。地域の発展・成長をより一層進めることにより、地域社会の一員として持続可能な社会の実現に努めてまいります。

097-FY2021-09

感染症対策の実施

【原則1】【原則7】

当金庫は、お客さまにご使用いただくための消毒液の店舗備えつけや、窓口でのアクリル板設置など、新型コロナウイルス等の感染症対策に努めています。また、職員からお客さまへの感染を防ぐだけでなく、職員の感染を防ぐため、金庫内の通達等を通じて全職員に感染症対策の意識向上を繰り返し呼びかけています。

097-FY2021-10

小学生ソフトボール大会、小学生ドッジボール大会への協賛

【原則7】

当金庫は、2020年度から新たに「春季全日本小学生男女ソフトボール大会」へ協賛しています。この大会は全国大会出場につながる大きな大会です。新型コロナウイルス感染拡大の影響でスポーツ大会は中止されることが多くなっていますが、こうした状況下でも、十分に距離をとることのできる屋外スポーツを応援することで地域の子供たちの健全な育成、地域スポーツの活性化に貢献できると考え、同大会へ協賛することとしました。大会当日は当金庫職員も多数ボランティアスタッフとして応援に駆けつけ、大会を

盛り上げるお手伝いをしています。

また、当金庫は2019年度から「春の全国小学生ドッジボール選手権大阪府大会」に協賛しています。この大会は全国大会につながる大会であるとともに、多くの6年生にとっては小学生として臨む最後の大きな大会でもあります。この大会でも、当金庫職員がボランティアスタッフとして大会を盛り上げるお手伝いをしています。

097-FY2021-11

「寄りそいパートナー」を全店に配置

【原則4】【原則7】

高齢化が進む中、金融機関においては、相続や財産管理といった金融サービスの紹介・提案に加え、認知機能が低下したお客さまに対して地方自治体や社会福祉協議会と連携して対応する事例が増加しています。そこで、トラブル防止や判断能力の低下しているお客さまの財産保護、円滑な相続促進による社会貢献を目指すため、当金庫は「寄りそいパートナー」として高齢者相談職員を全店に配置しました。

「寄りそいパートナー」は、相続や財産管理等の相談業務に対応できる知識の取得と他の職員への教育、事例情報の金庫内共有、地方自治体や社会福祉協議会との連絡相談窓口等、各店で日々多様な活動を行っています。

■ 長野県労働金庫

098-FY2021-01

環境に配慮した融資商品の取扱い

【原則2】

環境の保護・保全に取り組む方への支援を目的として有担保住宅ローンについて当金庫所定の金利より一定の金利引下げを実施しています。

- ・金庫が指定するエコ住宅に該当する場合
- ・長野県が定める「長野県 CO₂ 固定量認定制度」の物件に該当する住宅の場合

098-FY2021-02

被災者支援の取組み

【原則3】

災害で被災された方またはその親族の方を対象として、低金利でご利用いただける「災害救援ローン」の取扱いをしています。また、住宅ローンを中心とする返済計画の見直しに関する相談をお受けしています。

098-FY2021-03

環境に優しい店舗づくり

【原則5】

店舗新築時に太陽光パネルの設置や地中熱の利用を行っている他、全店舗において LED 照明を使用しています。

098-FY2021-04

長野ろうきん「こども基金」を通じた子育て支援の取組み

【原則1】

当金庫では、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、地域の子どもに関する課題解決に取り組んでいる中間支援組織（NPO 等の非営利団体）と連携し、長野ろうきん「こども基金」を通じて、長野県内の子育て世帯を応援する取組みを支援しています。

具体的には、お客様が当金庫のローン商品をご利用いただいた件数に応じた金額を当金庫が拠出し、地域の支援団体に助成をしています。

098-FY2021-05

新型コロナウイルス感染拡大に対する対応

【原則3】

① 生活応援アクション

コロナ禍においても、自宅にいながら「わたしたちにできること」をコンセプトに、信州に住む多くの方々と共に取り組むことができる参加型プロジェクトを実施しました。

2021 夏季の取組みの成果として、インターネットバンキング及びろうきんアプリの契約数に応じて寄付額を定め、その総額（30 万円超）を“コロナに負けない”信州応援基金へ寄贈しました。

② 新型コロナウイルス感染に対応する勤労者支援（融資取引他）

新型コロナウイルス感染拡大による経済的影響に伴う収入の減少や、止む無く離職された方を対象とした、無担保かつ低金利の「新型コロナウイルス緊急生活応援融資」の利用促進に取り組みました。

合わせて、現在当金庫へご返済中の融資に関する各種相談の受付、及び、返済等の見直しについても前向きに取り組みました。

③フードバンクの取組み

コロナ禍において、児童や生徒の自宅における食事機会が増加するなか、その食事への支援を必要とする家庭に対する食糧確保の取組みを行う NPO 団体（フードバンク信州）と連携した食糧支援（フードドライブ）の取組みを地域の労働団体等と共同で行いました。

■ 新潟信用金庫

102-FY2021-01

マイカーローンでの、環境対策自動車(低公害車)お申し込みで、金利引下げを実施

【原則2】

新潟信用金庫では、環境対策自動車（低公害車）でのマイカーローンのお申し込みで、金利年 0.20%の引下げを実施しています。

102-FY2021-02

クールビズ・ウォームビズの実施、およびディスクロージャー誌・通帳・証書等への「植物性大豆油インク」の採用

【原則5】【原則7】

新潟信用金庫では、クールビズ、ウォームビズを実施しています。また、ディスクロージャー誌・通帳・証書等には、順次、環境に配慮した「植物性大豆油インク」を採用しています。また、一部通帳には、紙100%で出来た通帳表紙を使用することで、製造過程において発生する切れ端が新たな資源に生まれ変わる「エコクロス通帳」を採用しています。

102-FY2021-03

粗品用手提げ袋の原料としてバイオプラスチックを利用

【原則5】

新潟信用金庫がお客様に提供する粗品用手提げ袋の原料をプラスチックからバイオプラスチックへ順次変更します。

■ 高崎信用金庫

103-FY2021-01

たかさきアダプトまち美化活動の取組

【原則3】

平成 26 年 7 月の当金庫創立 100 周年に向けた活動として、地域の環境保全に一層取り組もうと、平成 23 年 5 月より、地元の河川である烏川の清掃活動に継続的に取り組むこととしました。

活動開始にあたり、当金庫では、高崎市が実施する「たかさきアダプトまち美化活動事業」ならびに国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所が実施する「アダプトプログラム烏川・神流川」において協定を締結し、地域や関係機関と連携した清掃活動を実施することとしました。

活動場所は、高崎市内を流れる烏川の和田橋から聖石橋球場までの河川敷および土手の約 1 キロの範囲です。

実施は年間 3 回で、空き缶やたばこの吸い殻などのゴミ拾いが主な活動内容です。令和 2 年以降については新型コロナウイルス感染症拡大のため活動は中止しております。

【特徴】

本活動の特徴は、「アダプト」という仕組みを活用しているところです。「アダプト」とは、「養子縁組」という意味で、地域住民が「里親」となり、河川・道路・公園などの公共的スペースの一定区間を「養子」に見立て愛情と責任を持って美化（清掃）活動を行い、これを行政が支援する制度です。

また、地域の皆さまに本活動を知っていただき、地域の環境美化に少しでも繋がればとの思いから、活動時にはお揃いのスタッフジャンパーまたはポロシャツを着用し、活動を PR しています。

103-FY2021-02

マイカーローンのエコカー金利優遇

【原則3】

マイカーローン（たかしんカーライフプラン、たかしん自動車ローン「モア」）をご利用の際、エコカーを購入される方に対して金利を 0.3%引き下げています。

【特徴】

利用者にわかりやすくするため、対象となるエコカーは車種や構造ではなく「エコカー減税対象車」としています。

103-FY2021-03

住宅の省エネ改修のための金利優遇ローン

【原則3】

住宅の省エネ改修に対して金利を優遇したリフォームローン（たかしん目的ローン「エコリフォームプラン」）をご用意しています。

【特徴】

たかしん目的ローン「エコリフォームプラン」（変動金利）については優遇金利を適用した場合、他のたかしん目的ローンより金利が低くなるよう設定しています。

103-FY2021-04

環境保全活動に貢献するカードローン「たかしん エコきゃっする」

【原則3】

新規契約 1 件につき 100 円を環境団体に寄付（当金庫負担）することで環境保全に貢献することをコンセプトとした商品です。

【特徴】

平成 19 年の発売以来、年度単位で新規契約数に応じた金額を（社）群馬県緑化推進委員会の「緑の募金」に寄付しております。

令和 2 年度分は 1,600 円を寄付し、寄付した総額は 545,700 円になりました。

103-FY2021-05

平成24年8月より群馬県吾妻郡にある株式会社吾妻バイオパワーが運営する「吾妻木質バイオマス発電所」で発電されたグリーン電力を利用して作成した定期積金通帳と現金封筒を導入し、平成26年3月に総合口座通帳、平成29年10月は定期預金通帳についても導入しました。

【原則5】

グリーン電力とは、自然エネルギーや再生可能エネルギーにより発電された電力のことです。木質バイオマス発電もそのひとつで、建設廃木材や公園・街路樹などの剪定作業で発生する剪定枝などをチップ状に砕いた木質チップを燃料として発電しています。樹木は成長過程で光合成により大気から CO₂ を吸収するため、木質チップを燃やした時に CO₂ を排出しても、全体として CO₂ 量は増加しないことになります。このように CO₂ を吸収する量と排出する量がプラスマイナス・ゼロになることをカーボンニュートラルといい、地球温暖化の防止につながります。

【特徴】

グリーン電力の利用とは、当金庫が発注した通帳および封筒の製造工程や印刷工程で使用する電力量を受注先が計量し、当金庫がその使用電力量に相当するグリーン電力の環境価値を買取することで、結果として環境にやさしい電力を使用して通帳や封筒を製造・印刷したとみなされる仕組みです。

103-FY2021-06

信用金庫業界の環境自主行動計画の推進

【原則7】

平成 20 年度から 24 年度までの 5 年間で、電力、ガソリン、紙の使用量を平成 18 年度比 6%以上減とすることを目標に削減に取り組みました。新たに平成 25 年度から令和 2 年度を「第一計画期間」として、電力、紙の使用量を平成 21 年度比 10.5%以上減とすること、令和 3 年度から令和 12 年度を「第二計画期間」として、同年度比 19%以上減とすることを目標に取り組みます。

【特徴】

全店で CO₂ 排出量削減の取り組み、「第一計画期間」の 8 ヶ年計画の実効性を確保しています。

LED 照明の導入

本店営業部をはじめ、28 ヶ店舗の営業室に LED 照明を導入しており、営業室以外についても順次 LED 照明への切り替えを行っています。

電気自動車の導入

二酸化炭素を排出しない電気自動車を営業活動用として 6 台配備しております。

LED 照明や電気自動車の導入により、省電力・省エネルギーを推進しています。

103-FY2021-07

「高崎信用金庫 SDGs 宣言」の制定

【原則3】【原則5】【原則7】

当金庫は、地域金融機関として当金庫の取組みについて、SDGs との強い関係性を確認し、今後、さらなる取組みの強化により、SDGs の達成に向けて貢献することを宣言した「高崎信用金庫 SDGs 宣言」を令和元年 8 月に制定し、SDGs の達成に向け取り組んでおります。

【特徴】

当金庫の取組みと SDGs との係わりについて、下記の 4 つの重点項目に区分し、それぞれの取組みを強化して、SDGs の達成に向け貢献してまいります。

① 地域経済の活性化

地域における金融サービスの提供と、地元中小企業の皆さまへの経営支援を通じて、地域経済の活性化に貢献してまいります。



② 地域社会の繁栄

広く地域社会のお役に立つ活動に取り組み、地域の皆さまへの豊かな暮らしのお手伝いをしてまいります。



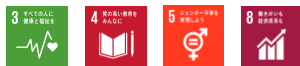
③ 環境保全

地球にやさしく社会と融和した金融機関を目指し、地球の豊かな環境保全に取り組んでまいります。



④ 人材育成

すべての職員が輝くための組織づくりに向けて、地球や地域のお客さまの課題解決を担う人材の育成や、働き方改革等に取り組んでまいります。



■ 兵庫信用金庫

110-FY2021-01

クールビズ・ウォームビズの実施

【原則1】【原則5】

本部・事務センター・全営業店において、クールビズ・ウォームビズを実施。

【特徴】

クールビズ・ウォームビズの実施にて、省エネルギー推進、職員の意識向上に努めています。

110-FY2021-02

カーボンオフセット通帳の使用

【原則1】【原則5】

環境に配慮したカーボンオフセット通帳を使用し、CO₂排出の削減に寄与しています。

【特徴】

カーボンオフセット通帳の採用により、CO₂削減に取り組んでいます。

110-FY2021-03

LED照明の設置

【原則1】【原則5】

藤原台支店・事務センター研修室の照明を LED 照明に切り替えしました

【特徴】

省エネルギー化に積極的に取り組んでいます。

110-FY2021-04

社会貢献活動

【原則4】【原則7】

・全店に「緑の募金箱」を設置し、年2回、兵庫県緑化推進協会に募金を振込しています。

【特徴】

地域社会への貢献活動として継続して実施しています。

■ 城南信用金庫

112-FY2021-01

LED照明を導入

【原則1】

営業店に LED 照明を導入（累計 85 店舗に導入）。

【特徴】

LED 照明の導入により、省電力、省エネルギーを推進します。

112-FY2021-02

営業店の屋上にソーラーパネルを設置して発電を実施

【原則1】

本店、事務センター、羽田支店、奥沢支店、中野支店、狛江支店、高円寺支店、溝ノ口支店、生田支店、綱島支店、鶴見支店、荏田支店の屋上にソーラーパネルを設置し発電を実施。

【特徴】

ソーラーパネルの発電により、省電力、省エネルギーを推進します。

112-FY2021-03

「節電プレミアムローン」の取扱い

【原則2】

ソーラーパネルの設置費用、蓄電池の設備費用、自家用発電機の設置費用等、省電力に関連する設備投資のためのローンに対して、当初 1 年間は 0.0%（無利息）、2 年目以降は 1.0%（固定金利）の利率を適用。

対象者：個人

金額：50 万円以上 300 万円以内

期間：3 年以上 8 年以内

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-FY2021-04

「節電プレミアム預金」の取扱い

【原則2】

ソーラーパネルの設置、自家用発電機の購入、蓄電池の購入、LED 照明への切り替え等、省電力に関連する 10 万円以上の設備投資を行ったお客様に対し、定期預金金利 年 1.0%を適用。

対象者：個人

預入金額：1 世帯につき 100 万円まで

期間：1 年

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-FY2021-05

節電・新エネルギー推進ビジネスローン「エナジーシフト」の取扱い

【原則3】

ソーラーパネルの設置費用、蓄電池の設備費用、自家用発電機の設置費用等、省電力に関連する設備投資のための中小企業向けローンを取扱開始。「ISO 14001」または「エコアクション 21」の認証を取得している場合 0.2%金利優遇。

対象者：法人または個人事業者

期間：15 年以内

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-FY2021-06

最新環境技術を駆使した省エネ店舗の設置

【原則5】

自然エネルギーの活用によりエネルギー使用量の削減をめざした環境に配慮した負荷の少ない設計による新店舗を設置している（羽田支店、奥沢支店、中野支店、高円寺支店、溝ノ口支店、生田支店、綱島支店、鶴見支店）。

【特徴】

環境負荷の少ない建築技術により省電力、省エネルギーを推進する。

112-FY2021-07

「RE100」に加盟

【原則1】【原則4】

事業活動で使用する電力を 100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加する国際イニシアティブ「RE100」に国内金融機関で初めて加盟し、バイオマス発電による電力への切り替え、J クレジットの購入による CO₂ のオフセットにより、2019 年 7 月に国内企業で初めてその目標を達成した。

【特徴】

使用電力を 100%再生可能エネルギーにするとともに金融業界の再生可能エネルギーに対する意識向上を図る。

■ 愛媛信用金庫

114-FY2021-01

環境配慮型商品の取扱い

【原則2】

地域の皆さまの環境保全活動を支援するため、環境配慮型商品を取り扱っています。一部の商品は、インターネットでも申し込むことができます。（<http://www.shinkin.co.jp/ehime/eco/index.html>）

- ・カーライフローン・エコ

エコカー（新車）購入資金、パーツ・オプションの購入・取付費用などにご利用いただける商品です。

- ・エコリフォームローン

太陽光発電システム等エコ関連設備の購入費用および設置費用、修繕費用などにご利用いただける商品です。

- ・あいしんエコサポートローン

法人および個人事業主の皆さまに、低公害車、太陽光発電システムなどの購入費用や設置にかかる費用、公害防止施設・環境保全施設等の建設資金などとしてご利用いただける商品です。また、環境保全の取組みについて第三者から認定・認証を受けているお客様の運転資金や設備資金にもご利用いただけます。

【特徴】

環境保全に資するための資金に特化した低金利の商品を開発することで、地域におけるエコ意識の高揚と太陽光発電システムの普及に努めています。

114-FY2021-02

3S徹底活動

【原則3】

役職員全員で 3S を推進し、ムリ・ムラ・ムダを省くことで働きやすい職場環境づくりや業務の効率化に努めています。活動を通じて集まった余剰品（使用可能な事務用品など）は、NPO 法人へ寄贈し、海外への支援物資として活用いただくなど、使用資源や廃棄物の削減に努めています。

また、経営改善支援の一環として、地域の中小企業等に対して「3S（整理・整頓・清掃）診断」を行い、経営者および従業員が自ら「ムダ・ムラ・ムリ」の削減を推進する職場づくりを支援しています。具体的には、①診断実施、②診断報告レポート（30 頁程度）を報告し、全従業員参加のもと報告会を開催、③要望により継続的活動のための個別支援（実行状況の点検を含む）を行っています。

【特徴】

3S は、企業にとって基本的な活動であり、専門知識や技術も必要ないことから、どのような企業でも取り入れることができます。全従業員による 3S への取組みを推進することで、エネルギー消費や廃棄物の削減に繋がり、経営力の強化にも繋がります。

114-FY2021-03

環境にやさしい店舗づくり

【原則5】

店舗建物を新築する際には、環境に配慮し、太陽光発電システム設備や LED 照明、温度保持効果の高い複層ガラスなどを導入しています。事務機器等についても、環境配慮型の機器へ順次入替を行っています。

そのほか、クールビズやウォームビズの実施、Web システムの活用によるペーパーレスの推進や、役職員に対する省エネ意識の啓蒙（全店舗のコピー機器周辺に「両面コピー」「集約コピー」等の方法を紹介したポスターを掲示。電灯スイッチやエレベーター開閉ボタンの近くへ節電協力のプレートを設置。）などを行っています。

【特徴】

環境負荷軽減に寄与する各種設備等の導入により、CO₂排出量の削減や省エネに努めています。また、役職員一人ひとりが公私を問わず省資源・省エネルギーに長期的に取り組むこととしています。

■ 鶴岡信用金庫

120-FY2021-01

環境に優しい金融商品の取扱い

【原則2】

- ・「カーライフプラン・エコ」のエコカーに係る金利優遇を行っています。
- ・ふれあっとリフォームローンの地球温暖化対策リフォーム工事資金に対する金利優遇を行っています。

【特徴】

企業の社会的責任に対して、本業として環境問題の解決に貢献することを目的に取り組んでいます。

120-FY2021-02

地域における環境保全活動の実施

【原則4】

- ・2005年から羽黒山（出羽三山）参道、境内の清掃ボランティア活動を行っています。
- ・山形県ふるさとの川愛護活動事業へ参画し、内川の清掃活動を行っています。
- ・2010年から山形県、鶴岡市、山形銀行と協同で「やまがた絆の森づくり活動」を実施し、森林の保全活動に取り組んでいます。

【特徴】

地域金融機関として、庄内地域の環境保全に対する取組みについては全職員一丸となって取り組んでいます。

120-FY2021-03

環境に配慮した業務プロセスの取組み

【原則5】

- ・2010年度よりカーボンオフセット通帳を活用しています。
- ・業務車両として積極的にハイブリッドカーを導入しています。
- ・店舗設置にあたり、太陽光発電設備の導入やLED設備の導入を行っています。

【特徴】

節電行動への積極的な取組みと共にCO₂排出削減に対する取組みも実施しています。

120-FY2021-04

鶴岡信用金庫の環境方針の制定

【原則6】

自然環境の維持及び改善に努めることは、地域金融機関としての社会的責任であり、環境への負荷の軽減に努力する事は、資源を消費する企業としての責務であると認識し、当金庫の環境問題に対する取組みを内外に明示しています。

【特徴】

当金庫のホームページに掲載し、取組みを広くPRしています。

■ 城北信用金庫

121-FY2021-01

CO₂排出量抑制への取り組み

【原則1】

当金庫は、3ヵ年計画「環境マネジメント 2019」を策定し、計画的な CO₂ 排出量の抑制に取り組んでいます。全拠点への LED 照明導入、低燃費な自動車・バイクへの更新、各業務におけるペーパーレス化等を通じて、今後も継続して電気・水道・ガソリン・コピー用紙の各使用量の節減に取り組んで参ります。

【特徴】

子会社を含む城北信用金庫グループ全体で数値目標を設定し、グループ内で連携することで目標を達成すべく取り組んでいます。

121-FY2021-02

環境に配慮した金融商品の提案

【原則2】

環境問題に配慮した下記の金融商品を取り扱い、お客さまにご提案しています。

- ・「環境保全設備支援ローン」
- ・「城北住宅ローン・エコ」
- ・「城北カーライフプラン・エコ」
- ・「自然エネルギー活用ローン」

【特徴】

地域企業の環境へ配慮した設備の導入や、家庭におけるエコ住宅及びエコカーの取得を支援し、持続可能な社会の形成に寄与することを目的としています。

121-FY2021-03

地域とのパートナーシップ

【原則4】

当金庫は以下の活動に参加しています。

- ・「埼玉県環境 SDGs 取組宣言企業制度」
埼玉県による、事業者の環境分野の「SDGs」への取り組みを促進する制度です。
- ・「エコフワード事業者宣言」
荒川区による、環境活動に取り組む事業者の認定制度です。
- ・「おおたクールアクション」
一人ひとりの環境配慮行動の実践によって、二酸化炭素の排出を減らすことを目的とする大田区の区民運動です。

【特徴】

当金庫は、地域の一員として環境への取り組みに積極的に参加し、自治体等と連携することで、地域に取り組みの輪を広げてまいります。

121-FY2021-04

埼玉県川口市「エコライフDAY」への参加

【原則3】

令和3年6月13日（日）、当金庫の川口市内5店舗は、川口市が取り組んでいる地球温暖化防止活動「エコライフDAY2021」に参加しました。

当日は、職員とその家族198名がCO₂排出量削減に配慮した一日を過ごし、合計で199kg-CO₂を削減することができました。

【特徴】

地域が取り組んでいる環境保全活動に、職員が積極的に参加することで、環境保全への関心を広げていくことを目的に取り組んでいます。

121-FY2021-05

SDGsへの取り組み

【原則6】

当金庫ではSDGsの推進に際し、以下のような取り組みを行っています。

SDGs宣言・SDGs基本方針の制定

SDGsに向けた当金庫の主な取り組みの公表

お客さま向け情報提供資料の作成

【特徴】

当金庫は、金融・非金融の両面から、事業活動を通じて地域における様々な課題の解決に取り組むとともに、地域の皆さまにSDGsの理念をお伝えしていくことで、国際目標SDGsの達成に貢献してまいります。

■ 静岡県労働金庫

125-FY2021-01

「静岡ろうきんSDGs実践方針」の策定

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

〈静岡ろうきん〉は、1953年の誕生以来70年近くにわたり、一貫して勤労者に寄り添い、その生活を金融面からサポートしてきました。2015年度には、2025年までの10年間で〈ろうきん〉がめざす姿を描いた「ろうきんビジョン」を策定し、高金利カードローン借換えによる勤労者の可処分所得向上や、非正規雇用の勤労者への融資、行政と連携した失業者への就労支援、金融経済教育の推進など、勤労者の生活向上、就労・社会参加、経済的自立のための支援に取り組んできました。

SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況をめざす、いわゆる「金融包摂」の考え方は、〈ろうきん〉の設立経過や理念、ビジョンと合致するものです。

このような考えのもとで進める金庫の事業や社会貢献活動は、SDGsのめざす「持続可能な社会」につながるとの認識にたち、実践方針の策定と、それに基づいた取組みを進めています。

【静岡ろうきん SDGs 実践方針】：https://shizuoka.rokin.or.jp/about_rokin/housin/sdgs/

125-FY2021-02

「人々が支え合う共生社会の実現」に向けた金融商品・サービスの提供

【原則2】

静岡県労働金庫は、協同組織の福祉金融機関として「人々が支え合い、喜びをもって共生できる社会の実現」に向けた金融商品・サービスの開発・提供をすすめています。

☐ 妊活サポートローン「あ・ゆ・み」

子どもを望むご夫婦・パートナーが不妊治療を選択する際、負担となる関連諸費用のサポートをするために妊活サポートローン「あ・ゆ・み」を提供しています。

☐ NPO 事業サポートローン

保健、医療、福祉の増進などに資する活動を行い、地域の福祉向上に大きな役割を果たしているNPO法人への金融支援策として「NPO事業サポートローン」を提供しています。また、日本政策金融公庫との業務連携により、多くの要望に応える体制を整えました。

☐ 福祉ローン

育児休業中の生活費や育児に使用する自家用車・育児用品購入費用など、育児にかかる費用、入院等の医療費、介護にかかる費用、災害復旧に必要な費用など、福祉にかかわる費用を対象とした「福祉ローン」を提供しています。また、「子育て優待カード」の提示で、「福祉ローン（子育て応援ローン）」の金利割引を行っています。

125-FY2021-03

地域社会への貢献活動

【原則3】

静岡県労働金庫では、地域社会への貢献活動としてさまざまな取組みを行っています。

☐ 大規模災害発生時の営業店駐車場の無償貸与・防災機器用品の設置

「静岡県」、「特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会」および「社会福祉法人静岡県社会福

社協議会」との間で覚書を締結し、巨大地震の被害発生時に、静岡県災害ボランティア本部・情報センターのボランティア活動等の拠点として、営業店の駐車場の一部を無償貸与します。また、各営業店に防災機器用品を設置しているほか、4店舗（富士支店、清水支店、磐田支店、静岡中央支店）の受水槽には、飲料水を貯水できるリザーバータンクを設置し、断水に備えています。

□ 「緊急小口資金」業務の取次

新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策において、感染症の影響により収入減等があった世帯を対象とした静岡県社会福祉協議会の行う「緊急小口資金」特別貸付の業務取次を行いました。（現在、取次業務は終了しました。）

□ 医療従事者への支援

新型コロナウイルス感染症に関わる医療従事者への支援として、「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」に100万円を寄付しました。

□ 福祉車両・車いすの寄贈

1998年より、毎年県下の福祉施設等へ車いす、福祉車両等を寄贈しています。2020年度は県西部の介護福祉サービス事業を行う社会福祉法人へ福祉車両等（車いす移動車）を寄贈し、多くの利用者の送迎等に役立てられています。これまでの寄贈台数は車いす560台、福祉車両等31台となりました。

□ ロッキーマックの寄贈

静岡県内の県立特別支援学校全23校に、各学校からの要望に基づき合計216種類（250冊）の図書を寄贈しました。

□ NPOの支援

社会が抱えている生活・福祉などの課題解決に向けて、地域で主体的に活動しているNPOへの支援活動に取り組んでいます。

・貧困家庭や孤食の子どもたちに食事を提供し、安心して過ごせる場所となっている「こども食堂」に対し、クリスマスプレゼントとして福祉施設で作られたお菓子（授産品）を提供し、子どもたちの笑顔の創出をしました。

・静岡県内で子どもたちの健全育成をはかる活動を行っているNPO等団体を支援するため、2011年度より寄付を行っています。2020年度は「公益財団法人ふじのくに未来財団」に対し、子育て支援活動を積極的に行っているNPOへの助成資金を寄付しました。「公益財団法人ふじのくに未来財団」発足時からの寄付金の累計は、約356万円となりました。

・静岡県内で障がいがある人の自立支援事業に取り組んでいる「認定NPO法人オールしずおかベストコミュニティ」に2017年度から寄付を行っています。

125-FY2021-04

環境への取組み

【原則5】【原則6】【原則7】

静岡県労働金庫は、地球規模で深刻化し世界的に問題となっている環境問題に対し、環境負荷を低減する活動をすすめています。

□ 省エネルギー・省資源化の促進

電気・ガス・事務用紙の削減に向けて数値を集計管理し、役職員が省エネルギー・省資源化の促進に努めています。

☐ 「環境保護に役立宣言」制度

対象融資のご利用件数に応じて、環境保護団体である「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」へ2009年度から寄付し、これまでの寄付金の累計は約929万円となりました。寄付金は同センターが行う静岡県内の地球温暖化対策事業への支援や県内小学校における環境教育事業「アース・キッズチャレンジ」の活動費用などに活用されています。

☐ 環境保護活動等への参加

「富士山麓育林活動」や「安倍川流木クリーンまつり」などの地域の美化・環境保護活動に積極的に参加しています。

■ 中ノ郷信用組合

126-FY2021-01

エコアクション21による環境配慮商品・サービスの提供

【原則1】【原則2】

当組合は、エコアクション21の環境配慮商品サービスの提供として環境にやさしい企業を応援するため、なかのこうエコアクションローン、個人のお客様には、なかのこうエコリフォームローン、エコ電化ローン、エコカーローンを取扱っております。

【特徴】

環境に配慮した企業や個人をサポートする組合員を対象とした特別融資です。

126-FY2021-02

エコアクション21認証取得サポート事業を推進

【原則3】

取引先事業所を対象にエコアクション21認証・取得をサポートするために支援講座を開設し、環境への取組を取引先事業所へも推進して環境配慮商品サービスを提供しています。

【特徴】

取引先事業所へエコアクション21を取得していただき、エコアクションローンによる事業資金を提供します。

126-FY2021-03

エコアクション21認証・登録

【原則7】

環境への取組を効果的に行うために、環境マネジメントシステム（エコアクション21）を構築し環境関連法規等を遵守し、環境方針に沿って二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減、総排水量削減、グリーン購入の促進、環境配慮商品サービスの提供、環境教育を全職員へ行い環境保全の意識を高めています。

年間の活動結果を環境活動レポートにより、ホームページ、店頭、EA21事務局へ公開しています。

【特徴】

エコアクション21認証・登録により社会的責任を高め、環境経営のための仕組みを構築、運用、維持し、全組織、全役職員に環境保全の意識を高めています。

126-FY2021-04

中ノ郷信用組合「SDGs宣言」

【原則6】

当組合「SDGs持続可能な開発目標」宣言への取組みとして、地域経済の活性化、地域社会への貢献、環境保全に対する取組み、人材育成への取組みを宣言します。

【特徴】

金融機関として主力は、「地域経済の活性化」である事業継承・創業支援・事業再生支援に軸足を置いた支援を行い仕事・職場の維持、発展させることで社会の持続可能性を高める活動を行いSDGs宣言の「貧困をなくそう、働きがいも、経済成長も」に取り組んでいる。

■ のと共栄信用金庫

127-FY2021-01

森づくり活動

【原則4】【原則5】【原則7】

2008年5月1日石川県と協定書を締結し、中能登町にある石動山の県有林を借り受け、毎年春と秋の2回人工林の整備（間伐、枝打ち）、下刈り、植林、林道整備や自然体験学習などを行っています。

これまでの14年間で25回森づくり活動を行い、その活動結果は、石川県が2008年に創設した「森林整備活動CO₂吸収量認証制度」で、活動開始から現在までに吸収されると考えられる二酸化炭素量は255.8トン-CO₂と認証を受けました。毎回、職員をはじめ家族、地元住民などがボランティアとして集まり活動しています。

【特徴】

森づくりファンド“やまもり”を創設し、賛同いただいたお客様の定期預金の募集総額に応じて（最大80万円）当金庫が森づくりファンドに拠出し、それを活動原資に森づくりを行うものです。

127-FY2021-02

児童環境学習活動

【原則4】【原則5】

2009年度に七尾市教育委員会、中能登町教育委員会と締結した「環境学習講座等協定調印」に基づき、七尾・中能登町の小学生に環境学習を行っております。当活動の主旨としましては、

- ① CSR（企業の社会的責任）の一環
- ② 当金庫は「CSR」を経営の基本方針に掲げ、最近の社会問題である少子化問題、環境問題を二大テーマとして取り組んでいる
- ③ 環境学習の意義
子供たちが環境学習を通じて、環境の重要性に対する認識を高め、環境保全活動に取り組むことにより、自然を愛し、人間の連帯感を醸成し、他人を思いやる心を育むことによって、将来の地域社会の担い手となる人間性豊かな教育の支援を行うため

としております。

【特徴】

毎年、七尾市・中能登町の各小学校の児童（6年生）が今年度の環境活動をスタートさせるのにあたり、活動テーマや取組み概要の発表等を行います。

この後、各学校が活動を行い11月頃に取組の様子をまとめ、発表しています。

127-FY2021-03

のとじまの松林再生活動

【原則4】【原則5】【原則7】

当金庫の本店所在地である七尾市能登島地区では、近年、薪を使わなくなったことなどにより松林の手入れが行き届かなくなったことや、松くい虫や台風の被害等により松林が衰退、荒廃し、マツタケをはじめとしたキノコの発生が激減しています。こうしたなか、松林再生活動をつうじて里山づくりを推進し自然豊かな能登の原風景の再生を目指すものです。

【特徴】

作業内容として

- (1) 比較的緩やかな尾根筋を中心に、既存のマツの生息環境を改善するため、除伐、刈払いや堆積している腐植層の除去を行う。腐植層は、現況では約 5～10 cm 堆積しており、その除去については、尾根筋両側の 10～20 m 程度を除去区域とする。
- (2) 植樹したマツに巻きついたツタや草を取り除き、日当たりを確保する。
- (3) 2022 年度以降も、活動区域を広げながら実施する。

としております。

127-FY2021-04

SDGs宣言

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

【特徴】

2019 年 6 月に「のとしん SDGs 宣言」を行いました。

1. 中小事業者の皆様の創業、成長、発展、承継を通じた地域経済の持続的発展
お客様のより安心して豊かな生活を実現するための資産形成支援
2. 豊かな自然環境と地域の魅力的な文化・遺産の保全保護及び発信
3. パートナシップ力の強化と協働の推進

を重点項目として掲げ、環境・教育や産業など地域の持続可能性のために取り組んでいます。

2021 年 10 月には「ななお SDGs コンソーシアム」を設立。七尾市や商工会議所、商工会、政府系金融機関、青年会議所などと連携し、幸せな地域未来を協働で創造していきます。

■ 中国労働金庫

134-FY2021-01

ローン商品の金利引下げによる環境保全に配慮した消費行動の促進

【原則2】

エコカーや環境に配慮した住宅購入等の場合について融資金利の引下げを実施しています。

134-FY2021-02

NPOの活動支援

【原則2】

NPO への助成金および NPO 寄付システム（口座振替による利用者からの寄付）による寄付金を通じて環境保全に取り組む NPO を支援しています。

134-FY2021-03

ESG 債への投資

【原則3】

投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、環境分野や社会課題への対応を目的に発行される ESG 債へ投資しています。

■ 北海道労働金庫

149-FY2021-01

省エネルギーの取組み

【原則1】【原則5】

地球温暖化防止に向け、夏季の「ビジネス軽装（ECO スタイル）」や「冷房の適正温度設定」等を実施するとともに、ATM コーナー・営業店内照明のLED 化を順次行い、省エネルギーに取り組んでいます。また、当金庫が使用する事務用品や機器の購入に際しては、環境に配慮した製品を優先して選択するグリーン購入を実践し、「FSC ミックス認証紙」を使用した冊子の作成などを推進しています。

【特徴】

省エネルギー施策により節電、地球温暖化防止に取り組んでいます。

149-FY2021-02

金融エコ商品の取扱い

【原則2】

環境に配慮した金融商品を提供することにより、環境保全に関心の高いお客様をお手伝いし、環境負荷の軽減に努めています。

電気自動車等の環境に優しい車や福祉車両の購入資金を対象とし、当金庫の一般の自動車ローンよりも金利を引き下げた「轟エコ」の提供や、省エネルギー化・バリアフリー化・耐震化工事等を対象とした低金利の「エコリフォームローン」の取扱いもしています。

【特徴】

金融エコ商品の提供により地球温暖化対策に取り組んでいます。

149-FY2021-03

社会貢献事業

【原則3】

1. お客様と共に行う取組み

(1) ろうきんつなぐプロジェクト

当金庫の預金・各種サービス・ローンの利用につき 100 円/件を当金庫が拠出して、地域に貢献する活動を行う団体に寄付しています。

(2) ATM 利用による支援活動

当金庫 ATM の利用（入金・支払のみ）につき 1 円/件を当金庫が拠出して、「ろうきんつなぐプロジェクト」の寄付対象項目として取組みを進めています。

2. コープさっぽろとの連携による社会貢献活動の取組み

協同組合間連携の一環として、当金庫で作成したお子様口座件数（18 歳以下の普通預金口座）に応じて、100 円/件を当金庫が「コープ子育て支援基金」に寄付しています。併せて、預金口座からの自動振替（手数料無料）により、同基金への寄付を行う自動寄付制度を提供しています。

3. NPO をサポートする取組み

(1) NPO 自動寄付制度

預金口座からの自動振替により、預金者の方が NPO を支援する仕組みを提供しています。

(2) NPO 振込手数料免除制度

NPO 団体が受取る寄付金・会費・売上代金などの振込手数料を、当金庫本支店間に限り、年間 100 件まで免除しています。

(3) NPO 事業サポートローン

NPO 法人の事業に係る運転資金や設備資金をご融資し、資金面で NPO 活動を支援するものです。「融資」という金融機関本来の業務を通じて、福祉金融機関の役割発揮に努めています。

(4) 日本政策金融公庫との連携

協調融資商品「TSUNAGU」を取扱っております。

5. その他の社会貢献事業

(1) 継続助成事業

芸術や文化活動、および市民活動支援を行っている団体へ継続助成（毎年助成を予定）を行っています。

(2) 社会貢献助成制度

地域の公益の担い手として活躍する北海道内に所在の NPO 団体やボランティア団体を応援するために「社会貢献助成制度」を創設しています。

(3) さぼーとほっと基金（札幌市民まちづくり活動促進基金）への寄付

ボランティア団体・NPO 団体などが行う、札幌のまちづくり活動を支えるために、2008 年度から同基金に毎年寄付を行っています。

(4) 環境債や社会貢献債等の購入

ESG や持続可能な開発目標（SDGs）などの分野への理解を深めるために、環境債（グリーンボンド等）購入による発行企業 HP での公表や持続可能な開発目標（SDGs）を展開している企業の社債の購入を行い、この分野の動向について労金業態全体と情報連携を行っています。

【特徴】

これまでの活動の成果の一部を人にやさしい社会づくりのために活用しようと、会員の皆様の理解を得ながら、環境保護に取り組む NPO 団体やボランティア団体等を対象に、助成事業や金融機能を通じた支援活動を実施しています。

149-FY2021-04

ペーパーレス化の推進

【原則 5】【原則 7】

事業の業務運営に関わる環境負荷を軽減するため、業務用 PC の 1 人 1 台化や庫内会議のペーパーレス化、本部決裁文書の電子化等のペーパーレス化を推進しています。

【特徴】

紙利用の削減による環境負荷の低減に取り組むと同時に、環境や社会問題に対する役職員の意識向上を図っています。

149-FY2021-05

協同組合ネット北海道への参画

【原則 1】【原則 3】

北海道生活協同組合・JA グループ・道内大学などと、北海道における新たな協同組合連携組織として 2020 年 6 月 17 日に発足した「協同組合ネット北海道」へ参画しています。

【特徴】

単一の協同組織では解決できない課題の解決に向けた取組みを展開しています。

149-FY2021-06

北海道生活協同組合連合会との「相互連携協力の推進に係る協定」の締結に基づく連携

【原則 1】【原則 3】

当金庫と北海道生活協同組合連合会は、2014 年 3 月 17 日に締結した「緊急災害対策等の相互連携に係る基本協定」を発展的に見直し、SDGs を基本活動テーマに持続可能な地域社会の実現や事業連携の更なる進展に向けて、災害時連携も網羅した「相互連携協力の推進に係る協定書」を 2021 年 11 月 1 日に締結しました。

< 協定に基づく連携協力の内容 >

- (1) 相互の組合員に資するための事業連携
- (2) 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会への貢献活動
- (3) 社会・経済情勢を学習する公開講座の共催
- (4) 大規模自然災害発生等の際の協力事項の整備や提供可能な資源等の情報交換
- (5) その他、本目的を達成するために必要と認めて合意した事

【特徴】

相互の情報交換・協議を通し、組合員の生活に役立つ取組みを進めています。

149-FY2021-07

金融リテラシーの向上に向けた取組み

【原則 1】【原則 4】

毎年、小・中・高校生を対象とした職場体験学習や出前講座などの金融教育を実施し、金融リテラシーを高めるための取組みを行っています。また、会員組合員などを対象に、マネートラブル防止に向けた学習会や資産形成・資産運用セミナーを開催しています。

2021 年は、当金庫創立 70 周年を記念して、「気軽にお金のことについて考えてもらうこと」を目的に、小学生向け、中・高生向けの金融教育教材（動画・ワークシート）を作成しました。

【特徴】

コロナ禍において従来の出前授業が難しくなったことを踏まえ、金融リテラシー向上の一つの取組みとして、金融教育教材を作成しました。

また、多重債務問題・悪徳商法などの消費者トラブルに関する情報について、イラストを交えて分かりやすく紹介した冊子「マネートラブルにかつ！」を活用しています。

■ 茨城県信用組合

151-FY2021-01

認知症サポーター養成講座の実施

【原則3】【原則4】

当組合では、平成 24 年 12 月 3 日に茨城県と認知症普及啓発企業連携事業協定書を締結し、職員及び地域住民の皆様に対し、認知症に関する正しい理解の普及・啓発に取り組んでいます。平成 24 年度は地域住民を対象に、茨城県及び茨城県認知症アドバイザーご協力のもと、「認知症サポーター養成講座」を実施し、平成 25 年度には職員を対象に実施しました。

また、茨城県では 9 月を「認知症を知る月間」と定め、認知症の早期発見や予防の取組み促進のため、パンフレットを当組合全支店の窓口やロビー等に備え置き、普及・啓発に努めています。

151-FY2021-02

献血運動の実施

【原則4】

当組合では、「しんくみの日週間」にあたり、社会貢献活動の一環として、医療に必要な血液の安定的確保に寄与するため、茨城県赤十字血液センターの協力により、献血活動に協力しています。当組合は、平成 22 年 10 月に「献血サポーター」となりました。平成 26 年度からは、全職員・関連会社の職員を対象に、8～9 月の 2 ヶ月間、「献血バス」並びに「献血ルーム」での献血協力を実施しております。企業献血の実施は今回で 9 回目となります。今年度は延べ 200 名が協力しました。

151-FY2021-03

がん検診受診率向上のための取組み

【原則1】【原則4】

茨城県では、がんによる死亡率の低減を図るため、県と企業、事業者及び団体が「がん検診受診率向上企業連携プロジェクト」として協定を締結し、連携してがん検診の受診率向上に取り組んでいます。当組合でも県と協定を締結しました。そして平成 29 年から、県が主催する「茨城県がん検診推進サポーター養成研修会」へ参加しています。

また、茨城県では 10 月を「茨城県がん検診推進強化月間」と定め、がん検診をはじめとする、がんに関する正しい知識の普及・啓発に取り組んでいます。この取組みの一環として、県主催による講演会のポスターやリーフレットを当組合全支店の窓口やロビー等に備え置き、普及・啓発に努めています。

151-FY2021-04

障がい者・高齢者等に配慮したサービス向上について

【原則1】【原則6】

耳の不自由な方の相談内容に的確に対応するためのツールとして「コミュニケーションボード」を窓口 に備え置き、渉外係は携行するようにしています。また、目が不自由な方が利用できる ATM を設置し、ホームページにて公表しています。

151-FY2021-05

カーボンオフセット通帳の導入

【原則2】【原則5】

令和２年１１月より、通帳の製造過程で排出された二酸化炭素をカーボンオフセットするなど、環境面に配慮した新デザイン通帳の導入をいたしました。また、色の識別が不自由なお客さまや、ご高齢のお客さまに配慮した金融サービス向上の一環として、メディア・ユニバーサルデザインを採用しています。

151-FY2021-06

茨城県信用組合 SDGs宣言の公表

【原則１】【原則２】【原則３】【原則４】【原則５】【原則６】【原則７】

当組合は、事業活動がお客さま、地域、役職員が共に成長する好循環を生み出し、地域の経済や社会の持続的な繁栄に繋がることを目標に取り組んでまいりました。

その取組みが、国連が提唱する持続的な開発目標（SDGs）と理念を同じくするものと考え、令和２年１１月２５日に「茨城県信用組合 SDGs 宣言」を公表いたしました。当組合が取り組むべき目標を「地域経済の活性化」「地域社会への貢献」「人才の育成」「地域環境の保全」の大きく４つに分類し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

151-FY2021-07

ソーシャルボンド・グリーンボンドへの投資

【原則１】【原則４】【原則６】

持続可能な社会の実現への取組みの一環として、ESG（環境・社会・企業統治）課題を考慮したソーシャルボンド（社会貢献債）及びグリーンボンドへの投資を行っています。

■ 西尾信用金庫

152-FY2021-01

地球温暖化対策への取組み

【原則1】【原則3】

- ・ LED 照明の導入
- ・ 電気自動車・電動バイク・電動自転車の使用
- ・ 新築店舗への太陽光発電設備の設置
- ・ ATM の待ち受け画面の節電化（ATM 省電力対応システムの導入）
- ・ 環境配慮型商品購入資金への融資商品（ECO カーローン、リフォームプラン・エコ）の発売

等に取り組んでいます。

152-FY2021-02

ペーパーレス化への取組み

【原則1】

令和1年10月より、紙の通帳をスマートフォン上のアプリで代用することで、入出金明細や残高が確認できる取扱いを開始しました。令和3年8月より、総合口座定期預金の取扱いを可能とする等、アプリの機能を拡充させています。

また、お客さまとの各種取引においてもシステム化を進め、伝票や申請書類等のペーパーレス化に取り組んでいます。

152-FY2021-03

SDGs への取組み

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

令和2年4月に「にしん SDGs 宣言」を公表し、持続可能な地域社会の実現に努めることを宣言しました。

令和2年10月より「にしん SDGs 私募債」、令和3年4月より「にしん SDGs 応援ローン」の取扱いを開始し、SDGsに取り組む企業を応援しています。

152-FY2021-04

新型コロナウイルス感染症への対応

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

- ・ 新型コロナウイルス感染症に係る各種助成金、給付金等の相談会の開催および申請サポート
- ・ 自治体への非接触放射温度計および検温アラームシステムの寄贈
- ・ 発売総額に応じて医療関連基金へ寄付する定期預金商品の発売。
- ・ 空中映像によるタッチレス操作ができる ATM の導入
- ・ 西尾市商工会議所と連携した職域ワクチン接種への取組み

等を実施しました。

152-FY2021-05

地域の活性化への取組み

【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】

- ・西尾市の子どもたちへ読書通帳（図書館での読書記録を通帳形式で記帳）20,000冊の寄贈
 - ・お取引先が経営支援に関する課題を当金庫の専門部署に直接相談できる窓口「経営サポートプラザ」の新設
 - ・お取引先における人材ニーズをサポートする人材紹介業務の開始
 - ・地場の証券会社である岡地証券（株）との包括的業務提携契約の締結等を実施しました。
-

■ しずおか焼津信用金庫

168-FY2021-01

エコアクション 21 の取組み

【原則1】

当金庫では、「自然環境の保全と環境にやさしい事業活動を念頭に、地域社会と調和して継続的な環境保全活動に取り組みます」という環境基本方針を掲げ、平成 20 年より環境経営システム「エコアクション 21」に取り組んでいます。

行動方針および環境目標に基づいて定めた計画に沿って、環境に配慮した活動に取り組むとともに、PDCA サイクルを基本としたエコアクション 21 を通じて、継続的な改善を図っています。

【特徴】

活動推進にあたっては全店より CSR リーダーを選任し、取組みを強化しています。また、県内金融機関において、エコアクション 21 の認証登録取得（平成 21 年に本部・本店、平成 25 年には全店にて取得、令和元年 7 月の合併により規模拡大）は初となっています。このような取組みが評価され、平成 25 年には環境省試行事業「チャレンジエコアクション 21」の参加金融機関に選出され、地元企業の環境経営導入支援を行いました。

168-FY2021-02

環境配慮型金融商品の取扱い

【原則2】

自らが販売・提供する商品への環境配慮として下記の商品を取扱い、環境に配慮した融資資金については金利を優遇しています。

1. 環境応援融資「SDGs・セレクトローン」
太陽光発電設備の設置、低公害車の購入、環境対策や整備を目的とした事業用資金等、環境へ配慮した事業用融資の金利優遇商品です。
2. 環境配慮型商品「カーライフプラン・エコ」「リフォームプラン・エコ」
エコカーの購入資金、エコ関連設備の購入・設置資金等、環境配慮型の消費者ローン商品です。

【特徴】

エコアクション 21 環境目標項目「自らが販売・提供する商品及びサービスに関する環境配慮」に関する取組みとして位置付けています。お客様のニーズと照らし合わせ、商品性等の見直しを図っています。

168-FY2021-03

しずおか未来の森サポーター「谷津山再生活動」の実施

【原則3】【原則7】

当金庫では、平成 22 年より静岡市中心市街地にある里山「谷津山」の整備活動に取り組んでいます。市街地の緑地として重要な役割を担っている谷津山ですが、近年放置竹林が広がり土砂崩れなどの恐れがあることから、当金庫では市民の憩いの場、自然体験等の環境教育の場として再生し、未来に自然を残そうと活動しています。

活動内容は以下の通りです。

1. 整備活動（下草刈り、竹の伐採）
地域の環境保全活動として、役職員が整備活動を実施しています。
2. 環境教育活動

子供たちが自然に触れながら、楽しく学べるように、自然教室や工作体験等を実施しています。

3. PR 活動

店頭、HP、社内外のイベント会場にて、谷津山の現状や当金庫の活動内容を紹介しています。

4. ハイキングコースの整備

谷津山散策用の案内看板を谷津山内に設置し、見どころを紹介しています。

5. 植樹

平成 24 年 3 月、当金庫が日頃整備活動をしているエリアにおいて、創立 80 周年を記念した植樹会を実施しました。

【特徴】

しずおか未来の森サポーター活動として、平成 22 年に静岡県と協定を締結し、社会貢献活動の一環として取組んでいます。この取組みにおいては、地元に密着する環境保全活動を通じ、社員教育も実施していることが評価され、平成 27 年 8 月に環境省・環境人材育成コンソーシアムが主催する「環境人づくり企業大賞 2014」で奨励賞を受賞したほか、平成 29 年 6 月全国信用金庫主催 第 20 回「信用金庫社会貢献賞」で face to face 賞を受賞しました。また令和 2 年 10 月、取組みから 10 年が経過し、しずおか未来の森サポーター企業表彰式において功労表彰をいただきました。

168-FY2021-04

環境配慮型の店舗づくり

【原則5】

「環境への配慮」をコンセプトとし、下記のような環境配慮型設計を取り入れながら、お客様がご利用しやすい店舗作りを進めています。

- ・太陽光発電設備による二酸化炭素排出量の削減
- ・LED 照明を採用した省エネ対策
- ・熱遮断ガラスフィルムによる空調負荷低減、自然採光の有効活用
- ・駐車場の緑化、熱交換塗料の塗布

【特徴】

エコアクション 21 環境目標項目「二酸化炭素排出量の削減」に関する取組みとして位置付けており、店舗新築時には環境配慮型の店舗設計を推進しています。

168-FY2021-05

SDGsへの取組み

【原則6】

持続可能な社会の実現を目指して、SDGsに取り組んでいます。

【特徴】

- ・SHIZUOKA SDGs Action! の開始

当金庫の SDGs 推進企画として、地方公共団体や SDGs に先進的に取組む企業と連携して「SHIZUOKA SDGs Action!」を開始しました。具体的には、支店（追手町支店・藤枝駅支店）の店外ディスプレイで取引先企業の SDGs への取組みを情報発信し、当金庫 HP の専用 SDGs ページでも情報発信しています。また SDGs に係る事業の為にクラウドファンディングの活用支援も行い、三位一体型支援として展開しています。

■ 飯田信用金庫

179-FY2021-01

事業活動における環境負荷軽減の取り組み

【原則1】【原則6】

電力等エネルギー使用量の削減に取り組み、令和2年度の二酸化炭素排出量は 1,113 トンとなり、基準年度とする平成 12 年度に比べ 41.5%削減することができました。この結果、預金 1 億円あたりの二酸化炭素排出原単位は 0.19 トンとなり、平成 12 年度に比べ 59.6%減少しております。

179-FY2021-02

リサイクルの推進

【原則1】【原則6】

- ・廃棄物のリサイクルをすすめ、令和元年度は事業活動により発生する廃棄物の 94.9%をリサイクルいたしました。総廃棄物量は 66,534 kg で、廃プラと廃タイヤはサーマルリサイクル（高炉燃料）、その他はマテリアルリサイクル（再資源化）しております。
- ・環境に配慮した素材の利用を進めており、新ユニフォームのスカートはペットボトル再生繊維を 60%使用しており、使用後の制服はサーマルリサイクルしております。また、紙 100%で出来たエコクロス通帳の利用やベジタブルインキの利用をしております。

179-FY2021-03

二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇するローンの取り扱い

【原則2】

平成 17 年度から二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇するローンを取り扱っております。令和元年度の住宅関連融資については 54 件 1,362 百万円の新規ご利用をいただき、二酸化炭素排出量削減効果 は 201 トンとなっております。

179-FY2021-04

環境情報の発信等

【原則3】【原則4】【原則5】【原則7】

- ・天竜川水系環境ピクニック（環境ボランティア活動）へ参加しております。
- ・飯田市の「燃やすごみ」袋へ当金庫の広告を掲載しております。なお広告料は飯田市の環境改善政策に活用されております。
- ・地域ぐるみ環境 ISO 研究会へ参加しております。
- ・長野県環境保全協会事業へ参加しております。
- ・飯田市条例に基づく住民主体の再生可能エネルギー事業の支援をしております。
- ・ISO14001 最新規格 2015 年版へ認証を更新しました。
- ・当金庫 SDGs 宣言を公表するとともに、長野県 SDGs 推進企業登録制度へ申請を行い、職員意識の向上、ならびに地域への発信に取り組んでおります。

■ 大阪信用金庫

180-FY2021-01

エコアクション 21 の取組み

【原則1】【原則5】【原則6】【原則7】

当金庫は、環境省が策定する環境マネジメントシステム「エコアクション 21」の取引先企業への普及推進に先駆け、2010 年に本部・本店において認証登録を受けました。また、2012 年には登録先を全店舗に拡大し、全役職員でエコアクション 21 活動に取り組んでいます。

「エコアクション 21」のガイドラインに基づき、節電節水、廃棄物の削減、法令順守など様々な環境活動を実施しています。

【特徴】

エコアクション 21 活動における主な取り組みとして、環境に配慮した設備の導入、「デマンドメータ」を取り入れた電力のピークカット対策、2006 年度からは環境緑化・店舗美化活動を目的とした「花咲かしんきん運動」の実施などを行っており、環境に対する職員の意識向上にもつながっています。これらの取り組みに対し、環境省や大阪府より表彰を受けています。

180-FY2021-02

「花咲かしんきん運動」

【原則1】【原則7】

明るい店舗、窓口づくりを目指すとともに、花を大切にするとともに温かな気持ちで全職員がお客様を気持ちよくおもてなしすることを目的とした店舗美化・環境緑化活動「花咲かしんきん運動」を平成 18 年度より実施しています。店舗周辺に四季折々の花を植えたり、店内にも季節感あふれる趣向を凝らした飾りつけを行っています。また、大阪府などが主催する通称「アドプト・ロード」の認証取得も行っており、現在 30 店舗において認証を受けています。

【特徴】

各店舗の若手職員が「花咲かしんきん運動推進委員」となって、リーダーシップを発揮し、全職員が協力して活動を実施しています。また、花咲かしんきん運動推進表の作成により PDCA サイクルを回す訓練にもなっています。

180-FY2021-03

だいしんグリーン化プログラム「エコアクション 21 スクール」

【原則3】【原則5】

当金庫では、取引先企業に「エコアクション 21」を普及するために、2011 年よりだいしんグリーン化プログラム「エコアクション 21 スクール」を実施しています。毎年「エコアクション 21 導入セミナー」を開催し、セミナー参加者の中から実際に認証取得を目指す企業を集め、「エコアクション 21 スクール」を開催し、エコアクション 21 の取得支援を行っています。

【特徴】

エコアクション 21 の導入により、コスト削減やリスク管理だけではなく、PDCA サイクルの定着など、幅広い面での相乗効果が期待でき、経営力アップに結び付くと考えられています。

■ 大阪シティ信用金庫

233-FY2021-01

緑化支援事業を応援する積金商品の発売と寄付金の寄託

【原則2】【原則3】

大阪府が「みどりの風を感じる大都市・大阪」をめざして実施している緑化支援事業を応援するため、平成 27 年から毎年 6 月の「信用金庫の日」に「シティ信金“みどりの風の道”定期積金」を発売しました。販売終了後、同積金の総契約額の 0.05 % 相当額を当金庫が拠出し、大阪府に寄託しています。贈呈式では、当金庫の高橋理事長が大阪府の田中副知事に寄付目録を贈呈し、またその寄付に対し、大阪府から感謝状を受領しました。寄託金は、緑化重点区域の活動資金に充てられます。

【特徴】

今年も 6 月 15 日に積金を発売し、同様に契約額の一定額を寄託しました。

233-FY2021-02

環境への配慮、環境意識の向上を応援する金融商品の発売

【原則2】【原則3】

「大阪シティリフォームローン増・快・築」を取り扱っており、環境に配慮した設備の導入資金としてご利用いただく場合、金利を「0.402 %（シーオーツー）」引き下げ優遇しています。また、特に環境性能に優れた自動車を購入される場合に、通常のカーローンより低廉な保証料率でご利用いただける「カーライフプラン・エコ」を取り扱っています。ほかにも、環境問題に積極的に取り組む日本国内の株式に分散投資し、長期安定的な信託財産の成長をめざすエコ・ファンド「損保ジャパン・グリーン・オープン/ 愛称・ぶなの森」を取り扱っています。

233-FY2021-03

環境負荷の少ないエコ製品を粗品に採用

【原則2】【原則3】

お取引先に配布する粗品について、環境にやさしい洗剤や、漂白剤不使用のタオル、再生紙のメモ帳・ポケットティッシュなどを採用しています。令和 2 年 10 月からは、窓口などでお客さまにお配りする頒布品の一つとして、新たにエコバッグを採用しました。エコバッグの利用促進によりレジ袋の使用を減らし、プラスチックごみを削減することで、海洋プラスチック汚染の防止をはじめとした環境保護に貢献します。

233-FY2021-04

全店で店舗近隣エリアの早朝清掃を実施

【原則2】【原則3】

当金庫では、昭和 59 年から 30 年以上にわたり、全店で店舗近隣や駅前、公園などの早朝清掃を実施しています。地域の一員としての社会的責任と地域への感謝の気持ちをもって各店が自発的に実施してきたもので、毎月実施しています。また、当金庫の創立記念日（11 月 11 日）と信用金庫の日（6 月 15 日）には、本部を含めて全店一斉に早朝清掃を実施しています。

233-FY2021-05

職員による環境負荷低減の取組

【原則7】

日常の業務運営において役職員に常に環境保護の意識を持ってもらうため、冷暖房空調機器、OA 機器、照明器具などにおいて、無駄な電力使用（省エネ ATM や LED への更新、照明器具の削減、稼働時間の短縮等）を排除するとともに、夏季に「クールビズ」、冬季に「ウォームビズ」を実施し、省エネに努めています。

233-FY2021-06

「シティ信金SDGs私募債 輝くみらい」の取り扱い

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

本私募債は、企業が私募債を発行する際に、発行企業が選定した日本国内の法人・団体等に対し、SDGs の 17 のゴールを達成するための用途に用いられる物品等（発行金額の 0.2% 以上相当額）を寄贈する寄附型の私募債です。趣旨に賛同された取引先企業が本私募債を起債し、当金庫がその引き受けを行うものです。

【特徴】

令和 3 年 9 月 27 日付で同私募債の引き受けを 2 社実施。それぞれ、八尾市消防本部への消防器具および石油ストーブ、大阪府「子ども輝く未来基金」への寄付金を寄贈しました。

233-FY2021-07

投資信託購入時手数料総額に応じた大阪府「子ども輝く未来基金」への寄付

【原則1】【原則6】【原則7】

約定日が令和 3 年 10 月 1 日（金）～令和 4 年 1 月 31 日（月）となる投資信託の買付について、当金庫が受領した購入時手数料（消費税除く）の合計金額の 1% 相当額を子ども輝く未来基金に寄付します。

同基金は、子ども食堂等で活用する学習教材、文房具、知育玩具購入費用の補助、キャンプなど自然体験・スポーツ活動・科学体験活動・文化芸術活動などに係る費用の補助（入場料・交通費など）、児童養護施設等で生活する子どもへのプリペイドカードの支給・児童扶養手当を受給しているひとり親世帯の子どもへの自転車や学習用品等の提供などに役立てられます。

【特徴】

令和 2 年度から実施しており、同年度は 764,348 円を同基金に寄付しました。

233-FY2021-08

環境省「令和3年度 地域ESG融資促進利子補給事業」の指定金融機関として採択

【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

本事業は、一定の要件を満たす再生可能エネルギー・省エネルギー設備投資に対する ESG 融資について、環境省が最大 1%・最長 3 年間の利子補給を行うものです。

当金庫では、本事業の活用により中小企業者の環境負荷低減への取り組みを支援するとともに、ESG 融資について「2021 年度 50 件」を目標とし積極的に推進することにより、地域の環境や社会的な課題解決と持続可能な社会の実現に努め、地域経済の活性化に貢献してまいります。

233-FY2021-09

SDGs推進保証融資「ウイング」の取り扱いを開始

【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

地域のお取引先中小企業者に対し、SDGs の達成に向けた取り組みへの関心を高め、その普及を促すことを目的に、大阪信用保証協会と連携し、SDGs 推進保証「ウイング」の取り扱いを開始しました。

【特徴】

本保証制度は、SDGs の達成に向けた事業活動を営む中小企業者（今後取組予定を含む）を対象として、信用保証料率を一律 10%割引することで、SDGs の普及促進を通じて、中小企業者の維持・発展と持続可能な社会の実現に資することを目的としています。

233-FY2021-10

日本政策金融公庫「地方創生CLOローン」の取り扱い

【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

当金庫は、令和3年10月から、日本政策金融公庫と連携し、「地方創生 CLO ローン」の取り扱いを開始しました。

本スキームは無担保ローンを実行し、証券化することで貸出債権の信用リスクを市場に分散することができ、地方創生を担う中小企業への円滑な資金供給にも貢献します。

【特徴】

地方創生 CLO は、社会貢献度の高い全国プロジェクトとしてソーシャルボンド評価を3年連続で取得し、2020年度は最上位格付「Social 1」を取得しています。

当金庫は本地方創生 CLO に参加し、地域中小企業への地方創生に資するプロパー資金の供給を通して、SDGs 目標の達成に向け取り組んでいます。

233-FY2021-11

「健康産業有望プラン発掘コンテスト」に特別協賛

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則7】

当金庫は、公益財団法人大阪産業局と「健康産業有望プラン発掘コンテスト」を共同開催しています。

当金庫の本コンテストへの参画は、特別協賛を含め5年連続となります。

大阪府では、健康寿命延伸産業分野での新事業創出支援のため「大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム（略称：OKJP）」を設置（事務局運営：大阪産業局）し、産学金官が連携して健康関連事業者の取り組みをサポートしています。

その一環として、事業化支援を行うプランを選定する当コンテストを実施し、優れたビジネスプランを発掘するとともに、ヘルスケア・アクセラレーター（※）等による伴走支援を実施し、大阪の健康産業の将来を見据えた新たな日常生活に対応するヘルスケアビジネスの創出をめざします。

当金庫は、大阪府と中小企業振興に関する連携協定を締結し、インバウンド誘致に伴う宿泊施設等の設備の融資などにも取り組んでいます。本健康産業支援を含め、今後とも大阪府と連携し、地域経済の活性化に努めてまいります。

※ヘルスケア・アクセラレーター：ヘルスケアビジネスの事業化を支援する人材。

【特徴】

1. 募集プラン

- ・テーマ：「新たな日常生活に対応するヘルスケアビジネス」
- ・対象：健康寿命延伸につながるビジネスの構想段階のプランや事業化1年程度のビジネスプラン

2. 審査

- (1) 1次審査（書類審査）
- (2) 2次審査（オンライン面談審査）
- (3) 最終審査（公開プレゼン審査）、審査結果発表、表彰式
 - ・日時：令和3年12月23日（木）13時～（予定）
 - ・会場：大阪イノベーションハブ
（大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワーC7階）（予定）

3. 表 彰

- ・大阪府知事賞（最優秀賞）（1 社）：50 万円
- ・優秀賞（1 社）：20 万円
- ・大阪シティ信用金庫賞（2 社）：10 万円
- ・ファイナリスト賞（10 社）：1 万円の商品券

※当金庫は事業化支援資金として上記（計 100 万円）を提供しています。

4. 主 催（共 催）

大阪シティ信用金庫、公益財団法人大阪産業局による共同開催

233-FY2021-12

「ゼロカーボンシティやお推進協議会」への参画

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則7】

八尾市は、2050 年度までに市域の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすため、「ゼロカーボンシティやお」を宣言しました。脱炭素社会を実現するためには、一人ひとりが地球温暖化対策に寄与する意識改革行動変容が求められるため、「ゼロカーボンシティやお」推進協議会を設立し、市民、事業者等と協力・連携しながら市域全体で地球温暖化対策の更なる充実を図る取り組みです。

当金庫は、八尾市との包括連携協定に基づく事業について協議するなかで、八尾市環境部環境保全課から推進協議会への参画要請を受け、本趣旨に賛同し、参画したものです。

【特徴】

＊推進協議会について

（1）構成団体

ゼロカーボン推進する環境省、国土交通省、大阪府など行政機関をはじめ、八尾市内で活動する、大学、企業、業界団体などで構成される。金融機関の協議会への参画は、当金庫が第一号となる。

（2）活動内容（予定）

- ①総会、セミナーの開催
- ②行政ならびに会員企業、団体との情報共有
- ③市内企業のカーボンニュートラル達成に向けた取り組みへの融資（ESG 融資）

233-FY2021-13

お取引先企業と連携し「こども食堂支援自販機」を設置

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則7】

当金庫は、令和 3 年 9 月から、お取引先が会長を務める「一般社団法人西成産業会」（大阪市西成区、会長 甲斐田安三）と連携し、当金庫の営業店に「こども食堂支援自販機」を設置しています。

【特徴】

自販機から得られる売上の一部を地元、西成区の子どもの食堂に寄付するもので、当金庫も趣旨に賛同し、「西成産業会」の会員企業が多く所在する萩之茶屋支店（大阪市西成区）、北加賀屋支店（大阪市住之江区）に設置しています。

子ども食堂は、貧困などで満足に食事をとれない子どもおよび親が、気軽に立ち寄り、食事ができる場所で、全国に約 5,000 カ所、大阪府に 400 カ所以上あります。

233-FY2021-14

営業店に農産物直売所「YACYBER 直売所」を設置

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則7】

当金庫は、地元の生産者と消費者をつなぐ地産地消の推進や、キャッシュレス決済の普及促進を図ることを目的として、YACYBER株式会社（本社 大阪市、代表取締役 唐澤太郎）と連携し、営業店のATMコーナー等にキャッシュレス・無人の農産物直売所「YACYBER直売所」を設置しています。

金融機関での「YACYBER直売所」の設置は、全国で初めての試みとなります。

この直売所は無人で、大阪府内で生産された農産物「大阪産（もん）」を中心に、近隣農家の農産物をスマートフォンのキャッシュレス決済等により購入することができます。

令和3年3月からは、大阪市と平成28年11月に締結した包括連携協定に基づく健康増進への取り組みの一環として、大阪市内店舗の「YACYBER直売所」に「野菜レシピ」を配架しています。

大阪市健康局健康推進部健康づくり課は、市民の健康づくりのため、栄養バランスのよい食事の実践および野菜摂取量の増加を促すレシピを、クックパッド公式キッチン「大阪市たべやんレシピ」に掲載しています。

同レシピは「簡単で」「めんどくさくない」をコンセプトとしており、当直売所に農産物とともに配架することで、来店されるお客さまに日常的に野菜を食べることを呼びかけ、健康づくりに貢献する取り組みです。

【特徴】

「YACYBER直売所」設置店舗（令和3年11月現在）

本店営業部、阿倍野支店、東成支店、都島本通支店、森ノ宮支店、谷町支店、八尾営業部、平野支店、吉田支店、北山本出張所

233-FY2021-15

大阪ユニセフ協会との連携活動ならびに「ユニセフ支援自販機」の設置

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則7】

当金庫の河村会長が常務理事を務める大阪ユニセフ協会のイベント協賛、参加を通じて、海外で内戦や干ばつなどで貧窮する子どもたちを支援しています。

紛争地や被災地などで支援を必要としている世界の子どもたちの写真や、救援物資、機関誌などを営業店のロビーなどに展示し、ユニセフの支援活動の周知に協力しているほか、チャリティウォークやチャリティバザーにも協賛し、役職員がイベントに参加しています。

令和3年5月からは、本店B2食堂および営業店9カ店に、売上の5%を大阪ユニセフ協会に寄付する支援自販機を設置し、活動の周知ならびに寄付を通じた活動資金を支援しています。

【特徴】

- ・本店B2食堂の「ユニセフ支援自販機」は、主に役職員が利用しています。
- ・営業店では、道路に面した店外に設置し、職員のみならずお取引先、通行人など、広く購入いただけるようになっています。
- ・令和3年11月現在の「ユニセフ支援自販機」設置営業店は、西支店、住道支店、上小阪支店、日本橋支店、加島支店、御厨支店、吉田支店、初芝支店、枚岡支店です。
- ・設置から10月末までの売上額 1,662,820 円（うち5%寄付 83,141 円）

233-FY2021-16

営業店に「サイクルポート（シェアサイクル）」を設置

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則7】

当金庫は、大阪府内約240箇所、約1,300台のシェアサイクルを運用する株式会社ドコモ・バイクシェア（本社 東京都港区、代表取締役 堀清敬）と提携し、営業店にサイクルポート（シェアサイクル）を設

置しています。

本提携は、お客さまの利便性向上や周辺施設への回遊促進、自転車の利用促進による健康増進およびCO₂削減等に寄与することを目的としており、金融機関でのサイクルポートの設置は、関西で初めてとなります。利用者は同社ウェブサイトまたはスマートフォンアプリで会員登録のうえ、クレジットカード決済等によりキャッシュレスでシェアサイクルを利用することができます。

※サイクルポート...シェアリング自転車の貸出、返却および保管場所

【特徴】

「シェアサイクル」設置店舗（令和3年11月現在）

阿倍野支店、住吉支店、都島本通支店、生野中支店、加美北支店、森ノ宮支店、港支店、恩加島支店、平野支店

233-FY2021-17

大阪府の障害者雇用促進基金（大阪ハートフル基金）とタイアップした定期積金を発売

【原則1】【原則2】【原則3】【原則7】

当金庫は、平成28年から、毎年11月に、大阪府の障害者雇用促進基金（大阪ハートフル基金）とタイアップした定期積金「シティ信金 ハートフル定期積金」を発売しています。

本定期積金は、平成28年の大阪府との連携協定に基づく事業として、障がい者の働く機会の拡大や社会的理解を向上させる事業等への一助となるよう、掛金総額の0.025%相当額を「大阪ハートフル基金」に寄付するもので、SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた当金庫の取り組みのひとつです。

6回目となる今回は、本定期積金をご契約いただいた方に、大阪府内の福祉施設で障がい者の方々が一つひとつ丁寧に手作りした「丸型ポーチ」または「ミニお財布ポーチ」を進呈します。

【特徴】

* 寄付内容

本定期積金取扱終了時点の掛金総額の0.025%相当額を当金庫が拠出し、「大阪ハートフル基金」に寄付します。

お客さまに寄付金の負担はなく、本定期積金をご契約いただくことで、障がい者の働く場と機会を積極的に広げ、障がい者が働きやすい職場づくりを進める事業主を応援する大阪府の事業にご協力、ご参加いただけます。

今年も11月1日に積金を発売し、同様に契約額の一定額を寄託します。

233-FY2021-18

シティ信金「SDGs チャレンジ」を開始

【原則1】【原則2】【原則3】【原則7】

当金庫は、令和3年11月から、「シティ信金『SDGs チャレンジ』」を開始しました。

SDGsは、17テーマからなる普遍的な社会課題がゴールとして設定されており、各所属ならびに役職員それぞれが、SDGs達成に向けて、継続的に何ができるか考え、実践していくことが肝要となります。また、SDGsは2025年開催の大阪・関西万博でもメインテーマでもあります。

本取組は、今後、役職員個人、グループを問わず、業務上、生活上の身近なSDGsに取り組み、日常の行動変容からSDGs達成につなげていくものです

【特徴】

「SDGs チャレンジ」実施案

1. 参加単位

所属単位、役職員個人、グループ問わず

2. 取組内容

SDGs 達成につながる身近な活動の継続

3. 個人でできる取り組み例

- ・電灯のスイッチをこまめに消す
- ・手洗い時、水道の出しっぱなしを控える
- ・残業短縮による節電、ワークライフバランスに努める
- ・コピー用紙、伝票使用枚数の削減
- ・粗品の発注数抑制による期限切れ粗品廃棄の最小化
- ・食べ残さない
- ・日用品、文具はしっかり使い切ってから次のモノを使う
- ・営業店および家庭の冷蔵庫内の格納を少なくし、必要数をこまめに買う。
- ・野菜の芯や茎なども捨てずに食べる
- ・すぐに食べない肉類は冷凍する
- ・認証マークの商品を買う（エシカル消費）
 - ・国際フェアトレード認証（コーヒーやチョコレートなど人権や環境に配慮された商品）
 - ・有機 JAS（野菜や畜産物などオーガニック製品）
 - ・MSC 認証（生態系に配慮した漁業で獲った水産物）
 - ・ASC 認証（資源を守るための規定をクリアした養殖水産物）
 - ・RA 認証（コーヒーなど熱帯雨林保護に配慮した作物）
 - ・FSC 認証（森林の持続管理に配慮した牛乳パック、紙製品、印刷物）
- ・マイバッグ、マイボトルを持ち歩く
- ・空調および換気効率向上のため扇風機やサーキュレーターを併用
- ・簡易包装や詰め替えの商品を選ぶ（シャンプー、洗剤など）
- ・地産地消に努める（大阪産野菜、近隣県産の畜産・農作物など）
- ・使わないおもちゃ、本、服の寄付
- ・自動車、バイクでの移動を減らす
- ・家事、雑用の分担見直し
- ・金融知識・経験を生かしたボランティア（プロボノ活動）
- ・趣味、特技を生かしたボランティア（スポーツ・芸術の指導、祭祀の手伝いなど）
- ・自治会活動

4. 各所属でできる取り組み例

- ・暖房は 20℃に設定し、ウオームビスを励行（上着や発熱性下着の着用、ひざかけの活用など）
- ・ロビー展（近隣の教室、サークルと連携）
- ・職場体験の受け入れ（近隣の学校と連携）
- ・セミナー（年金応当日に特殊詐欺事例紹介など）
- ・ロビーで地元の課題をテーマに研究発表
 - （子どもの貧困、フードロス問題、生物多様性、女性活躍推進など）
- ・フードドライブ（当金庫や家庭の保存食をこども食堂に提供）

233-FY2021-19

大阪市内の商店街で子ども向け参加体験型イベントに協力

【原則1】【原則3】【原則4】【原則7】

当金庫は、7月31日（土）生野本通中央商店街の「子ども物産展」、8月9日（月）北田辺商店街の「こどもあきんDO!」、10月23日（土）生野本通中央商店街振興組合の「子どもお店バトル」の開催に協力しました。

「子ども物産展」は、小学生と高校生がチームとなり、各チームが選んだ特産品を販売し、その利益を競うイベントです。商売を通じてヒト・モノ・カネの流れなどを学ぶ機会を提供するとともに、商店街のにぎわいを創出することを目的とするイベントで、今回で4回目となります。

「こどもあきんDO!」は、NPO 法人 北田辺プロジェクト実行委員会が「子ども・子育て」に特化した地域づくりのために行ったイベントで、子どもたちは地方や地元の物産を販売し、その利益を競いました。当日、当金庫阿倍野支店の職員は同会場で「コインおとし」などゲームコーナーを設け、イベントを盛り上げました。

「子どもお店バトル」は、小学生と高校生がチームとなり、各チームが選んだ地方の特産品を販売し、その利益を競うイベントです。商売を通じてヒト・モノ・カネの流れなどを学ぶ機会を提供するとともに、商店街のにぎわいを創出することを目的としています。今回は、授業の一環として参加した小学生とサポート役の高校生ボランティア、合わせて 100 人が参加し、20 道県の特産品を、工夫を凝らして販売、その利益を競いました。

なお、当金庫は、34 道県の在阪事務所と連携しており、「子ども物産展」の熊本・高知・広島 of 3 県、「こどもあきんDO!」の群馬・宮城の 2 県、「子どもお店バトル」は 20 道県の在阪事務所に協力を依頼し、特産品の発注から仕入れ、納品などの店舗運営に協力しました。

当日は、模擬金融機関として出店した「信用金庫」で売上金の入金や両替を体験していただき、「商売の面白さ、お金の大切さ」を学んでいただきました。

【特徴】

1. 子ども物産展

- (1) 日 時 令和 3 年 7 月 31 日 (土) 10 時～15 時
- (2) 場 所 生野本通中央商店街 (大阪市生野区)
- (3) 主 催 生野本通中央商店街振興組合
- (4) 参加者 18 名 (小学生 9 名、高校生 9 名)
- (5) 出店数 3 店舗 (熊本・高知・広島県)

2. こどもあきんDO!

- (1) 日 時 令和 3 年 8 月 9 日 (月・祝) 10 時～15 時
- (2) 場 所 北田辺商店街 (大阪市東住吉区)
- (3) 主 催 NPO 法人北田辺プロジェクト実行委員会
- (4) 参加者 18 名 (小学生 13 名、中学生 2 名、高校生 3 名)
- (5) 出店数 3 店舗 (群馬・宮城県、東住吉区)。

3. 子どもお店バトル

- (1) 日 時 令和 3 年 10 月 23 日 (土) 9 時 30 分～12 時 30 分
- (2) 場 所 生野本通中央商店街 (大阪市生野区)
- (3) 主 催 生野本通中央商店街振興組合
- (4) 参加者 100 名
(生野小学校、西生野小学校、林寺小学校、大阪ビジネスフロンティア高等学校)
- (5) 出店数 20 店舗 (北海道、岩手県、新潟県、石川県、山梨県、長野県、栃木県、福井県、群馬県、三重県、徳島県、高知県、香川県、島根県、広島県、岡山県、大分県、宮崎県、熊本県、鹿児島県)

■ 沖縄県労働金庫

245-FY2021-01

「ろうきん・わしたシマづくり運動基金」の取り組み

【原則1】【原則2】【原則3】【原則6】

- ・NPO 団体等への支援として、自動機の取り引きに応じて寄付金額を積み立て、地域で活動する団体へ寄付することによりその活動を支援する「ろうきん・わしたシマづくり運動基金」を創設しました。2020年度は21 団体へ総額 130 万円を寄付しました。
- ・また積み立て金の一部については、「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」への支援にも充て取り組みを行っています。

245-FY2021-02

「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」の取り組み

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

- ・「子どもの貧困」と、その背景にある「親（労働者）の貧困」問題の改善・解決に向け、2016 年 10 月に基金を設立し、（公財）沖縄県労働者福祉基金協会を事務局として運営を開始しています。「働く」につながる支援を基本方針とし、養育する子どもがいる親の就労・生活支援や、職業資格の受験費用等の捻出が困難な就学生（高校生等）に対する費用等を支援しています。より多くの人に取り組みを知っていただき全県的な運動をめざし、精力的に取り組みを進めています。

245-FY2021-03

「首里城再建に向けた支援」の取り組み

【原則1】【原則2】【原則3】【原則7】

- ・火災により焼失した世界遺産に登録されている首里城の再建に向けた支援の一環として、自動機の取り引きに応じて寄付金額を積み立て、沖縄県へ寄付をする支援を行っています。
2020 年度は 3,634,540 円を寄付しました。

■ 九州労働金庫

249-FY2021-01

環境に配慮した取組み

【原則1】【原則2】【原則5】【原則7】

九州ろうきんでは、企業の社会的責任（CSR）を果たすために、「ろうきん 5R 運動」（Rokin の Refuse、Reduce、Reuse、Recycle）と称して、地球温暖化防止に向けた以下の取り組みを行っています。

- ① 二酸化炭素削減の一環として、室内の冷房温度を 28 度、暖房温度を 19 度に設定するとともに、照明の部分消灯や LED への切り替え等を行い、節電に努めています。
- ② 事務用品や機器の購入に際し、環境に配慮した製品を優先して購入する「グリーン購入」を実践しています。
- ③ タブレット端末を利用したペーパーレス会議システムを導入し、紙の資料の削減に努めています。

249-FY2021-02

ピンクリボン運動への支援取組み

【原則1】【原則4】【原則5】

九州ろうきんの ATM のご利用 1 回につき 1 円を当金庫が拠出し、ピンクリボン運動を推進している団体へ寄付を行うなど、ピンクリボン運動を支援する取り組みを 2011 年 10 月より行っています。2020 年度は、ピンクリボン運動を推進している九州の NPO 法人へ合計 240 万円の寄付を行ったほか、営業店ではご来店のお客さまへ広く周知することを目的に、窓口等に「ミニのぼり」を備え置き、「ウエットティッシュ」の配布などの啓発活動に取り組みました。

249-FY2021-03

子どもたちの成長を応援する活動・児童養護施設の子どもたちへの支援活動

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

- ① 社会貢献預金「こども未来応援定期」の取り組み
「子どもたちを支援する団体」を応援することを目的として、2019 年 4 月より社会貢献預金「こども未来応援定期」の取り扱いを開始しました。社会貢献預金「こども未来応援定期」は定期預金作成の店頭表示金利より当金庫所定の金利（0.1%）を引き下げた金利を適用金利とし、その金利の引き下げ幅分の利息相当額を「お客さまの寄付額」とみなして、九州 7 県の「子どもたちを支援する団体」へ寄付する預金です。2020 年度の預入件数は 3,187 件、預金残高は 9 億 54 百万円となり、当金庫拠出金を含めて総額 2,115,579 円を各県の児童養護施設協議会に寄付しました。
- ② 図書寄贈の取り組み
九州各県の児童養護施設に、子どもたちが希望する図書を寄贈しています。2011 年 10 月の取組開始から 2021 年 3 月末までに、合計 12,255 冊寄贈しました。また、図書寄贈に対して子どもたちからいただいたお礼のメッセージカードは、地域の皆さまとともに成長を見守ることを目的に、最寄りの営業店に掲示させていただいています。
- ③ メセナシートの取り組み
福岡市の PayPay ドームで開催されるソフトバンクホークス戦全試合に、「メセナシート」（ビュッフェ付観戦席）を 1 試合あたり 16 席設け、児童養護施設の子どもたちを招待しています。なお、2020 年度は、新型コロナウイルス感染の影響を考慮して、野球観戦の招待を見合わせました。

249-FY2021-04

「エコ住宅」優遇制度の実施

【原則2】【原則5】

九州ろうきんでは、オール電化システムなどの環境に配慮したシステムを備えた「エコ住宅」を対象として、2016 年度より住宅ローンの金利を優遇する制度を設けており、この制度を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。

249-FY2021-05

NPO と協働した取組み

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

①九州ろうきん「NPO 助成」

NPO 法人・ボランティアグループ・市民活動団体等の活動を金融の側面から支援し、より良い社会づくりの一助となることを目指して NPO 助成制度を設けています。助成金は、お客さまからのボランティア預金「NPO パートナース」による寄付金と当金庫の拠出金を財源としており、2021 年 3 月末までに累計 1,216 団体へ 2 億 65 百万円を助成しました。

②ボランティア預金「NPO パートナース」

店頭金利から引下げた金利でお預入れいただき、金利引下げ相当額は、九州ろうきん「NPO 助成」の助成金の一部として活用させていただく定期預金です。なお、預金残高は、2021 年 3 月末現在で 2,481 件 6 億 36 百万円となっています。

③NPO 自動寄付システム「NPO サポーターズ」

指定日に、お客さまの普通預金口座から、お客さまが応援する NPO 法人の口座に自動振替で寄付する制度です。1 回の寄付額は 100 円以上（100 円単位）で、寄付先は、市民への情報公開性や事業の社会性等を基準に当金庫が選定した NPO 法人の中からご選択いただきます。

④NPO 法人および社会福祉法人等向け融資

NPO 法人や社会福祉法人等の運転資金や設備資金をご融資し、資金面でサポートしています。2021 年 3 月末で累計 79 件 12 億 42 百万円をご融資しました。また、2017 年度に商品性を見直し、返済期間の延長や法人格取得後、初めて到来する事業年度の決算が確定していなくても申込みいただけるなど、利便性を高めました。

⑤NPO 振込手数料免除制度

NPO 法人の運営に欠かせない会費や寄付金集めを、九州ろうきんの本支店を利用して振り込みで行う場合に、年間 100 件を上限として手数料を免除する制度です。2021 年 3 月末で累計 33 団体にご利用いただいています。

249-FY2021-06

災害に関する取組み

【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】

九州ろうきんでは、自然災害で被災された方に対して、生活や住宅の復旧・復興を目的に低利でご利用いただける「災害救援ローン」および「災害救援住宅ローン」の取り扱いを行っています。また、住宅ローンをはじめとした、返済計画の見直し等に関するご相談をお受けしています。

249-FY2021-07

社会的課題(奨学金問題)に関する取組み

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

九州ろうきんでは、勤労者およびその家族に対して、奨学金返済にかかわる相談および奨学金借換に必要な資金を融資することにより返済負担額等の軽減を図り、勤労者とその家族の生活の改善および向上に寄与することを目的として、2018年4月より労働者福祉南部ブロック協議会（九州各県の労働者福祉協議会）と連携した以下の取り組みを開始しました。

① 教育ローン（奨学金借換専用「つなぐ」）

奨学金の毎月返済額や返済期間の見直しなどの多様なニーズに応えるために、通常のエデュローンよりも低利な奨学金借換専用ローン「つなぐ」の取り扱いを2018年4月より開始し、2021年3月末で累計350件7億96百万円をご融資しました。

② 奨学金返済困窮者に対する相談窓口の設置

奨学金返済にかかわるご相談に対応するため、各営業店および労働者福祉協議会のライフサポートセンターに相談窓口を設置しました。なお、ご相談状況に応じて、セーフティーネット（弁護士や司法書士）の紹介なども行っています。

■ 新潟県労働金庫

250-FY2021-01

ろうきん森の学校

【原則7】

「ろうきん森の学校」は、労働金庫連合会が創立 50 周年記念社会貢献活動として、豊かな森の再生と環境問題に取り組む人材育成をめざし、「森を育む」「人を育む」「森で遊ぶ」を活動の柱として、2005 年 10 月に富士山、福島、広島 の 3 地区に開校し、2015 年には新潟・岐阜を加えた全国 5 カ所に拡大しました。

全国的な ろうきん森の学校の活動は「国連生物多様性の 10 年日本委員会」の連携事業として認定されました。

新潟地区は、上越市「くわどり市民の森」を拠点として活動している「NPO 法人かみえちご山里ファン倶楽部」と連携しています。

当金庫としても、地域とのつながりを深めながら、自然環境保護の活動を支援しています。

また、SDGs の取組みとして、環境やパートナーシップへの理解を深めるための職員研修を現地にて開催しています。

【特徴】

ろうきん森の学校の特色

- ① 「森づくり」から、「人づくり・地域づくり」につなげる自然学校運動
- ② 現地 NPO が主導する「地域主体型」活動の定着
- ③ 支援団体関係者への体験プログラムを通じた「環境マインドの醸成」

250-FY2021-02

節電、夏季軽装等の取組み

【原則1】【原則5】【原則7】

冷暖房の適正温度設定やクールビズの実践、グリーン商品の購入など、省エネ・省資源につとめ、環境負担軽減をはかっています。また、「にいがた緑の百年物語」（緑の募金）に協賛しています。

【特徴】

各種取組みを通じて、職員の省エネに対する意識向上に努めています。

250-FY2021-03

新潟県生活協同組合連合会との「緊急災害対策等に係る相互連携協定」の締結

【原則3】

当金庫と新潟県生活協同組合連合会は、大規模自然災害発生時における地域への支援活動について、協同組合間の相互連携を図り、復旧・復興への取組みをすすめるため、協定を締結しています。

■ 東北労働金庫

253-FY2021-01

「社会貢献目的預金(ろうきんふれ愛預金)」

【原則2】

2012 年 10 月より、地域の社会福祉施設等の支援を目的とし「社会貢献目的預金(ろうきんふれ愛預金)」の取り扱いを開始しました。

お客様からお預入れいただいた定期預金(預入期間 1 年)店頭表示金利と適用金利(店頭表示金利から 30%を減じた金利)の差による利息相当額に、当金庫からの拠出金等を加算し、東北 6 県内の福祉団体、福祉施設等へ 2013 年度から寄付を行っております。※店頭表示金利の見直し状況により、寄付が発生しない(店頭表示金利と適用金利の差が発生しない)場合があります。その場合、ふれ愛預金の残高に店頭表示金利の 30%を乗じた額を当金庫が拠出し寄付いたします。

10 月に各県本部に設置している「寄付先選定委員会」で寄付先を決定し、11 月～12 月に寄付を行っております。

【特徴】

2020 年度は、46 団体に対して総額 416 万円の寄付金贈呈を行いました。

253-FY2021-02

東北ろうきん復興支援・社会貢献団体助成金制度

【原則3】

2012 年 10 月より、「東北ろうきん復興支援助成金制度」を創設し、2012 年度より助成を行っております。「東日本大震災からの復興・被災者への支援」および「当金庫が定める社会貢献活動」に取り組む NPO やボランティア団体の活動支援を目的として実施しています。

12 月に助成先を選考し、翌年 1 月に助成金を交付しております。

【特徴】

2020 年度は、49 団体からの応募を受付け、選考の結果、10 団体に対して 1 団体あたり 30 万円の助成金を交付し活動支援を行いました。

253-FY2021-03

環境負担軽減の取り組み「節電、LED 照明の導入」「夏季軽装」

【原則5】

〔節電、LED 照明の導入〕

店舗における電気の使用量を可能な限り抑えるため、経済産業省で示す「オフィスビルの節電メニュー」で示す内容に基づき、全部店が節電の取り組みを実施しました。また、営業店の一部および本部ビルオフィス内に LED 照明を導入し、省エネルギー化に取り組んでおります。

〔夏季軽装〕

2021 年 5 月 1 日～2021 年 9 月 30 日までの期間、夏季軽装を実施しています。期間中、冷房温度を 28 度(営業店 26 度)に設定し、男子職員は原則、ノー上着・ノーネクタイ、女子職員はリボンタイを非着用としています。

253-FY2021-04

自然保護等の社会貢献活動「ろうきん森の学校」

【原則7】

労働金庫連合会の50周年記念事業として、里山再生を通じた人づくりをテーマに全国5箇所を実施する「森の学校」で、福島県いわき市「湯の岳の山荘」が選ばれ、NPO法人「いわきの森に親しむ会」との協働により、自然観察会、間伐、炭焼き等の自然体験を通じ、環境普及を図っています。

【特徴】

「ろうきん森の学校」は2005年よりスタートし、森での楽しい活動を通じ、多くの人が「森に興味を持ち」「森を大切にする」気持ちを育むことで個人のライフスタイルを見直すきっかけを作る活動で、今般「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する連携事業に認定されました。2015年度から第II期がスタートし、新たに2地区を加え、全国5地区で次の3つを柱に活動しています。

- ① 森を育む（＝植樹・間伐・下草刈り等の森林整備作業）
- ② 人を育む（＝森林作業・自然体験のリーダー育成）
- ③ 森で遊ぶ（＝里山での自然体験プログラム開発および実施）

2020年度は延べ6407名の参加をいただきました。

253-FY2021-05

自然保護等の社会貢献活動「ふれ愛の森ロッキー」

【原則7】

森林資源の維持増進と自然環境の保全を図るとともに、会員をはじめ市民の皆様の自然とのふれあいの場、各種レクリエーションの場として活用いただくことを目的に、1998年に西蔵王にオープンしております。森林内には、スギ、ブナ、ナラ、カエデ、クリ、サクラ等、約32,000本が生い茂り、自然を満喫しながら散策できる遊歩道があります。

253-FY2021-06

東北6県生活協同組合連合会との「緊急災害対策等に係る相互連携協定」の締結

【原則3】

当金庫と青森県生活協同組合連合会・岩手県生活協同組合連合会・宮城県生活協同組合連合会・秋田県生活協同組合連合会・山形県生活協同組合連合会・福島県生活協同組合連合会は、大規模自然災害発生時における地域への支援活動について、協同組合間の相互連携を図り、復旧・復興への取組みをすすめるため、協定を締結しています。

■ 第一勧業信用組合

285-FY2021-01

地域課題応援定期預金「かんしん子供応援定期預金」の販売

【原則3】【原則4】

- ・SDGs 目標「4. 質の高い教育をみんなに」の取組の1つとして、「かんしん子供応援定期預金」の残高に対する0.025%相当額の教育資材（書籍や体育用具）を、地域の小学校25校へ寄付。

【特徴】

寄付をした書籍や体育用具は全て当組合のお客さまから購入。

285-FY2021-02

コロナ禍における資金繰り支援(含むコミュニティローン)

【原則1】【原則2】【原則3】

- ・「コロナなかりせば倒れないであろう先は、一社たりとも倒させない」との信念のもと、全力で組合員の皆さまの応急の資金繰り支援を実施。
(新規・借換対応 47,499 百万円/3,216 件：2020 年 3 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

【特徴】

コロナ禍の新しい環境、時代のニーズに即したビジネスモデルへの変換も合わせて実施。

285-FY2021-03

脱炭素社会への取組

【原則5】【原則6】【原則7】

- ・当組合管理ビルの二酸化炭素排出量を削減
2020 年度：2018 年度比▲51%（2019 年度より取組）

【特徴】

SDGs 推進委員会を発足させ、身近な取組（電気使用量削減・ペーパーレス等）を実践。

285-FY2021-04

ダイバーシティ推進の取組

【原則4】【原則6】【原則7】

- ・「ジェンダー平等を実現しよう」の実現を目指し、女性が管理者として活躍できる働きがいある職場環境の整備を推進すべく、管理職に占める女性割合を5年後の2026年には、30%以上に目標設定。

【特徴】

	2016 年 3 月末	2021 年 3 月末	2026 年 3 月末
女性役席比率	16.4%	22.6%	30%以上

■ 浜松いわた信用金庫

287-FY2021-01

環境に配慮した包装素材への代替

【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

浜松いわた信用金庫は、サービス品包装用の袋（2種類）を従来のプラスチック製から環境に配慮したバイオマスプラスチック製に変更しました。当金庫は、SDGsを経営理念の根幹に据え、ユニバーサルバリュー宣言（SDGs行動宣言）を公表しており、同宣言の「2. 地域を大切にする」「3. 地域への取組みを通じて世界の課題と向き合う」における地域の環境保全、地球温暖化防止等の具体的な取組みとなります。

【特徴】

袋の表面：ゴール1 2. つくる責任つかう責任

袋の裏面：ゴール1 3. 気候変動に具体的な対策を

袋の両面：「バイオマスプラスチックとは？」の解説と素材の説明

以上の印刷と配布時の一言から、SDGsの理解、環境への配慮等の普及啓発につなげています。

287-FY2021-02

FSC 認証材の活用

【原則1】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

浜松いわた信用金庫は、新型コロナウイルス対策製品としてFSC認証材を活用したアクリル製パーテーションを本部・営業店の一部で採用しています。また、同商品は当金庫取引先業者に作製依頼するとともに、地域企業にもFSC認証材の普及、活用を呼び掛けています。

287-FY2021-03

環境に配慮した顧客配布用粗品への切替え

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

浜松いわた信用金庫は、顧客へ配布する粗品を素材変更等にて環境に配慮したものに切り替えました。また、同粗品には環境配慮素材の説明等を行い、環境意識の向上につなげております。

(例)

- ・メモ帳、ボックスティッシュ、お年玉袋、カレンダー3種 ... FSC 認証紙へ切替
- ・キッチンパック ... バイオマスプラスチック製へ切替
- ・トイレトペーパー ... 再生紙100%製品へ切替
- ・ラップ ... エコレーベルマーク製品へ切替 など

287-FY2021-04

ユニバーサルバリュー宣言(SDGs 行動宣言)の公表

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

2019年1月、浜松いわた信用金庫は、国際連合が提唱する国際社会全体の目標であるSDGsの達成に貢献することを経営理念の根幹に位置付け、広く社会課題の解決に取り組むとともに、自らも持続的成長を目指していくことを宣言しました。

1. 人を大切にする

働き方改革、ワークライフバランス向上、ダイバーシティ推進等、全ての人が個性と能力を十分に発揮できる働きがいのある職場づくりに努めます。

また、金融仲介機能の発揮を通じて人権保護、社会的弱者支援等の社会的課題の解決に貢献します。

2. 地域を大切にする

地域産業成長へのコミットメント、お取引先企業の付加価値向上、お客様の豊かな生活の実現等、地域の魅力や価値を創出することで、地域・お取引先・当金庫それぞれの持続的な成長を目指します。

また、地域の環境保全や災害対策強化に取り組むことで、住み続けられる街づくりに貢献します。

3. 地域への取組みを通じて世界の課題と向き合う

金融仲介機能の発揮を通じて、地球温暖化防止、生物多様性保全等、世界的な課題の解決に貢献するとともに、地域における具体的な取り組みを進めます。

4. 取組みの裾野を広げる

お取引先や金庫役職員における SDGs の認知度・理解度の向上に努めるとともに、お取引先の SDGs への取組みを支援することを通じて、取組みの裾野の拡大を目指します。

287-FY2021-05

事業者の SDGs への取組みを「見える化」する評価サービスの提供

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

当金庫と SDGs 包括連携協定締結先である三井住友海上火災保険（株）の外部知見を活用し、事業者のブランディング向上、SDGs への取組みを 5 つのカテゴリー、74 のヒアリング項目より数値化し、強み・弱み・改善項目を「フィードバックシート」として顧客還元を行い、「見える化」する「浜松いわた信用金庫 SDGs 評価サービス」の取扱いを 2021 年 8 月より開始。

【特徴】

本件評価サービスについては、「浜松いわた信用金庫 SDGs 私募債」（※2021 年 4 月取扱開始）の利用事業者が無償にて利用が可能。営業店においては、事業者が取組むべき SDGs 課題等を顧客と共有、事業性評価の実効性向上、様々なソリューションメニューを提供することによる「伴走型支援活動」にも繋がっている。

287-FY2021-06

事業者の女性活躍推進

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

地域企業の SDGs の認知・普及、人材確保、企業ブランディングの向上を目的として「SDGs 登録制度～働く女性を応援するに！～」の登録事業者募集を 2021 年 6 月より開始。

【特徴】

当金庫と東京海上日動火災保険（株）との連携による独自の登録制度。SDGs 達成（女性の活躍推進等）に向けて取組む事業者を応援する制度であり、女性の活躍推進に関する取組みを宣言することが登録要件となっている。企業ブランディング向上、ESG 要素を踏まえた社会課題への対応、東京海上日動火災保険（株）より健康経営認定取得支援、BCP 策定支援他各種ソリューションメニューの提供等が可能であり、顧客の抱える課題解決支援へ取り組んでいる。

■ 鹿児島相互信用金庫

293-FY2021-01

SDGs へのコミットメント

【原則1】

2018 年 10 月、これまで、地域のための協同組織金融機関として取組んできた実績と経験をもとに、更なる地域の社会課題、経済課題、環境課題の解決に取組み、「持続可能な地域社会の実現に貢献すること」及び「地域の各主体とのパートナーシップの下、SDGs の普及に努めること」を目的として「そうしん SDGs 宣言」を表明しました。

【特徴】

SDGs の取組みに関する宣言を表明したのは、九州の金融機関を含む企業体として、また全国の信用金庫でも初の取組みとなりました。

293-FY2021-02

持続可能な地域社会に貢献する中小企業の育成・支援

【原則3】【原則4】【原則7】

中小企業の SDGs 達成に向けた優れた取組みの表彰を通じて、更なる取組みの支援と県内中小企業への普及促進を図ることを目的として、「そうしん SDGs アワード」を開催しています。

【特徴】

一般に公募を行うのではなく、当金庫営業店が自店取引先の中から SDGs 達成に向けた経営・取組みを行う企業等を推薦することで、当金庫職員と取引先の SDGs に関する対話を促進する仕組みとしています。また、当金庫取引先 1,600 社で構成される組織会の総会場で表彰式を行うことで、受賞企業の優れた取組みを、これから SDGs に取り組もうとする中小企業に広く周知するものです。

293-FY2021-03

持続可能な地域社会に貢献する事業者の創業・成長支援

【原則2】

鹿児島県にとって重要である一方で、廃業率が高いという課題がある「飲食業」の創業や成長を支援するため、2019 年 9 月から飲食業に特化した創業支援プログラム「そうしん食の起業家養成アカデミー」を実施しています。鹿児島県内の各専門家による講義のほか、創業前のフードトラックによるトライアルなど、研修と実践の場を提供により事業者の創業・成長を支援します。

293-FY2021-04

環境配慮や福祉に配慮した商品の提供

【原則2】

エコ・カーライフプラン、エコ・ローン、エコ・リフォームプランなどのローンや、「がんから守る」定期預金、子育て支援積金（ハローキッズ元気積金）など、環境や福祉に配慮した商品の提供を行っています。また、2019 年 11 月には、SDGs の趣旨に基づき、環境保全や社会課題の解決に繋がる事業を行う事業者向けの専用商品として「SDGs アシストローン」の提供を開始しています。また、2021 年 4 月からは取引先の資金調達と地域社会への貢献をサポートする「そうしん SDGs 私募債」の取扱いを開始しました。

293-FY2021-05

自治体と連携した地域課題の解決に向けた商品・サービスの提供

【原則1】【原則4】

人口減少・少子高齢化問題（長島町ぶり奨学プログラム、大崎町リサイクル未来創生奨学パッケージ、南大隅町ネッピー・みさきちゃん奨学ローン）や空き家問題（長島大陸空き家活用ローン、長島大陸空き家活用つなぎローン、西之表市移住・定住促進ローン）など、自治体と連携して地域課題の解決に取り組むとともに、商品・サービスの提供を行っています。

【特徴】

自治体と連携して地域課題を解決するため、自治体が専用に制度設計した補助金や利子補給制度等の活用を前提に金融機関の「ファイナンス」の仕組みをアレンジして提供しています。

また、金融機関の保有するネットワーク力を活かし、自治体だけではなく、大学、企業など、様々なステークホルダーとのパートナーシップも意識した地域課題解決に資する活動を行っています。

293-FY2021-06

環境・福祉に配慮した店舗づくり・設備の導入

【原則5】

太陽光発電や地熱空調システムなどの環境への配慮やバリアフリーや多目的トイレなど高齢者やお子様連れにも優しい店舗づくりを順次行っています。

2020年7月には環境にやさしい超小型EV「コムス」を導入し、営業活動中の環境負荷低減に努めるとともに、同車両にSDGsロゴを表示することで鹿児島県内におけるSDGsの普及促進を図っています。

293-FY2021-07

持続可能な地域社会に貢献するための役職員の意識向上

【原則6】【原則7】

2019年4月、役職員のSDGsへの理解促進、意識向上を図ることを目的として、全役職員が達成を目指す「My SDGs宣言」を行いました。また、薩摩川内市とのパートナーシップで実現した「竹SDGsバッジ」を着用するとともに、役職員の名刺にSDGsロゴをあしらうことで、お客様への挨拶時にSDGsに関するコミュニケーションの機会を確保しています。

293-FY2021-08

地域の各主体とのパートナーシップによるSDGsの普及促進活動

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

自治体とのパートナーシップの下で行うSDGs普及活動としては、錦江町立大根占小学校において「SDGsの視点を取り入れた小学生向けワークショップ」を実施したほか、薩摩川内市と連携し、鹿児島県の地域資源でもあり地域課題でもある「竹」を活用した「竹SDGsバッジ」を製作。薩摩川内市及び同市企業等において着用しながら普及活動に取り組んでいます。

また企業とのパートナーシップによる普及活動として、当金庫取引先で組織する外郭団体と当金庫で「SDGs共同宣言」を行っています。さらに、各店の取引先とも個別に「SDGs共同宣言」を行い、共同宣言した活動を店頭に掲示して宣言、積極的に情報開示することで、取引先に加え一般のお客様にもSDGsの普及を図っています。

【特徴】

地域のステークホルダーとのパートナーシップによる普及活動においては、信用金庫が保有している「地域におけるネットワーク」というリソースを活用し、自治体や企業と連携して取組んでいます。

293-FY2021-09

自治体・民間企業と連携した循環型地域社会構築への取組み

【原則1】【原則3】【原則4】【原則5】

鹿児島県大崎町、当金庫、南日本放送、そらのまち、合作の5者連携により、「一般社団法人大崎町SDGs推進協議会」を設立しました。

【特徴】

同協議会では、それぞれの強みを活用し、取組む3つの柱として① 研究開発、② 人材育成、③ 情報発信を掲げ、活動を行っております。

■ 京都中央信用金庫

296-FY2021-01

環境方針の制定、環境マネジメントシステムの運用

【原則1】

風光明媚な世界有数の観光都市、そして京都議定書採択の地である“京都”を地盤とする信用金庫として、“On Your Side ～ 地球がうれしい ～”をスローガンに、「環境方針」（2009 年 10 月制定）に基づく環境マネジメントシステム（ISO14001 認証取得）の運用により、環境に配慮した事業活動を展開し、地域社会ひいては地球全体の環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組んでいます。

296-FY2021-02

エコ関連商品

【原則2】

融資商品として「中信スーパーエコローン／再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用した売電や省エネ設備導入資金」、「中信 SDGs サポートローン／SDGs 取組資金」、投資信託として「損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）／環境対策に取り組むエコファンド」、「しんきん SRI ファンド／企業の社会的責任に着目し投資するファンド」等を取扱っています。

296-FY2021-03

地域清掃活動

【原則4】

「ゴミゼロの日／全店一斉ボランティア清掃」の実施や、「琵琶湖一斉清掃」「びわ湖の日」「環境美化の日」等への参加を通じて、一人ひとりが環境やゴミ問題に関心を持ち、地球にやさしい街づくりを考え、行動する機会としています。

296-FY2021-04

環境配慮型店舗

【原則5】

カーボン・ニュートラルに向けて、新設・建替店舗は、太陽光発電・全館 LED 照明・照度センサー・人感センサー・高効率空調・Low-E ガラス、屋上緑化 等を導入し、「環境配慮型店舗」として展開しています。

296-FY2021-05

eco 検定受験推奨、eco 実践

【原則7】

環境問題への理解と対応を高める一助として「eco 検定」の受験を推奨し、「クールビズ・ウォームビズ、ライトダウン・リフレッシュ Day、ペーパーレス、ゴミの分別、制服のリサイクル」等の省エネ・省資源化を推進しています。

■ 観音寺信用金庫

310-FY2021-01

ご当地鍋の開発による地方創生への取組み

【原則4】

2019年8月に「地域と一体となり、この土地の文化をひとりでも多くの皆さんとシェアしたい」との理念のもと、「どっかーん!! と観音寺を盛り上げ隊」(以下どっかんおんじ)を発足させました。観音寺市関連の4団体と第1次、第2次、第3次産業である農業、製造業(食品加工、印刷等)、卸売業、飲食店の地元事業会社など40先がコラボして地元食材を活用した「天空の七宝シリーズ」を開発販売展開しています。

伊吹イリコをベースに香川県の白みそ仕立てのお出汁に、ロメインレタス、練り物ボール(えび天、いりこ、あおさ)、天空のえびせんべい、豆腐・お揚げ、豚肉・鶏肉、長ネギ、しめじ・えのき、といった観音寺産7つの具材を入れて煮込むご当地お鍋「天空の七宝鍋」を第一弾リリースしています。

地元観音寺市は瀬戸内の海の幸に恵まれ、伊吹イリコのほか、新鮮な魚やエビを原料とした竹輪・かまぼこを製造する業者も多く、さぬきうどんとの相性は抜群です。地元食文化の可能性を存分に引き出した観音寺発ブランド鍋として定着、発展させています。



【特徴】

コロナ禍でイベント活動等が大幅に制限される中でも地元観音寺の活性化のため、精力的に“どっかんおんじ”プロジェクトを進行しています。6月にはインスタスポット「天空の鳥居」に自動販売機を設置(観光客向け高屋神社授与品(御朱印、お守り、おみくじ、絵馬)の頒布及び地元産品の販売)、8月にはコロナ退散シークレット花火を実施しました。また11月21日には「おいしいかんおんじ物産展」開催を予定しています。

